



世界へ
旅する
絵本ボート

Let's share stories of our ocean by the picture book.

PROJECT REPORT

親と子の絵本ワールド・インいしかわ実行委員会

「世界へ旅する絵本ポート」は
「絵本」を通じて、こどもたちの「世界の海」への興味を広げ
世界と協力して海を守ることの大切さを届けます。



世界へ
旅する
絵本ポート

Let's share stories of our ocean by the picture book.

世界へ旅する絵本ボート

主催：親と子の絵本ワールド・インいしかわ実行委員会、北國新聞

共催：日本財団「海と日本プロジェクト」

後援：金沢市教育委員会、小松市教育委員会、野々市市教育委員会、かほく市教育委員会、

北陸放送、テレビ金沢、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオかなざわ・こまつ・ななお

協力：石川子ども文庫連絡会、金沢市立金沢海みらい図書館、小松市立空とこども絵本館、学びの杜のいち カレード、

かほく市立中央図書館

世界へ旅する 絵本ボート

そうぞうしてみよう
この海の手先 海の中
ずっとむこうの海のこと

絵本が届けてくれるのは
わたしたちの知らない 海のおはなし

日本の海 アメリカの海
中国の海 ヨーロッパの海
北極の海 アフリカの海
どの国のどの海も
ほんとは ぜんぶおんなじ海のこと

この海は ずっとむこうまでつながる
たったひとつの海だから

さあ みんなでシェアしよう
この海のおはなしを

絵本といっしょに
海のむこうの仲間と出会う旅へ

さあ 海のむこうの仲間と出会う旅へ

プロジェクト概要



せかいの海のおはなし展&おはなし会

- ・石川県内4図書館で、日本と世界の「海」に関わる絵本を集めた絵本展を開催
- ・世界の海の絵本のおはなし会を開催



せかいこども海会議 in いしかわ

子どもたちと「世界の海」について考えるワークショップを金沢海みらい図書館で開催
海の探検家や外国人留学生のはなしを聞きながら、「世界の海」について考えます。



海外姉妹都市と絵本寄贈による交流

石川の子どもたちの海に対する思いを絵本として制作し、
子どもたちのメッセージを海外の子どもたちへ届けます。

せかいの海のおはなし展 せかいの海のおはなし会

開催期間：2022年7月15日～8月23日

開催場所：金沢市立金沢海みらい図書館

小松市立空とこども絵本館

野々市市立学びの杜ののいち カレード

かほく市立中央図書館







せかいの海のおはなし展

日本と世界の「海」に関わる絵本を集めた絵本展を夏休み期間中の図書館で企画コーナー展開。
石川県の子どもたちと親子に向けて、絵本を通した『世界とつながる海』への好奇心を育む機会となりました。

開催期間：2022年7月15日～8月23日

開催場所：金沢市立金沢海みらい図書館

小松市立空とこども絵本館

野々市市立学びの杜ののいち カレード

かほく市立中央図書館

内容：世界とのつながりが感じられる海の絵本を選書し、
世界の海とのつながりを考えさせるコメントとともに展示紹介

協力：石川子ども文庫連絡会

金沢市立金沢海みらい図書館、小松市立空とこども絵本館

野々市市立学びの杜ののいち カレード、かほく市立中央図書館



せかいの海のおはなし展

絵本と世界の海を旅しよう

そうぞうしてみよう
この海のさき 海のなか
ずっとむこうの海のこと

絵本が届けてくれるのは
わたしたちの知らない 海のおはなし

日本の海 アメリカの海
中国の海 ヨーロッパの海
北極の海 アフリカの海
どの国のどの海も
ほんとは ぜんぶおんなじ海のこと

この海はずっとむこうまでつながる
たったひとつの海だから
さあみんなでシェアしよう
この海のおはなしを

絵本といっしょに
海のむこうの仲間と出会う旅へ



せかいの海のおはなし展

絵本の選書 & 紹介

各図書館で「せかいの海のおはなし展」を開催するための、

- ・世界の海、海の中の世界を知る絵本
- ・海外作家の「海」の絵本の図書を23冊選書し、

その絵本を紹介するためのコメントをつけて展示しました。

選書は、「石川子ども文庫連絡会」のほか、絵本専門士の協力を得て行いました。

協力 : 石川子ども文庫連絡会、絵本専門士



うみのむこうは 

作・絵：五味太郎 出版社：絵本館

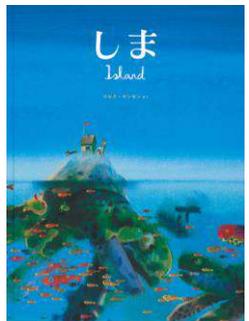
五味太郎さんの「うみのむこうは」は、アメリカ、韓国、ポルトガル、ベトナムなど各国の言葉で翻訳され、出版されています。どの国のどの海でも「うみのむこう」を想像する気持ちはおなじなのかもしれません。海辺にたつて、海のむこうを想像してみましょう。



うらしまたろう 

絵：秋野不矩 再話：時田史郎 出版社：福音館書店

「うらしまたろう」は日本五大昔話の一つ。大昔から時を超えて日本で語り継がれるお話です。全国には様々な浦島太郎伝説があり、石川県にも類話が残っています。日本の人々が昔から海と密接に関わりながら生きてきた事を教えてくれます。



しま
Island 

作・絵：マルク・ヤンセン 出版社：福音館書店

大荒れの海の中、男性と女の子がたどり着いた島。それは大きなカメの背中でした。彼らをのせて「島」は、さまざまな海を旅します。しかし海の中で起きていることは、「島」の上にいる人間は知りません。そしてついに、彼らが船に戻るときが来て…。オランダ出身のイラストレーターによる、文字のない絵本です。言葉はなくても、絵は壮大なドラマを語りかけます。



アンデルセンの絵本 人魚ひめ
Den lille Havfrue 

作：ハンス・クリスチャンアンデルセン 絵：リスベート・ツヴェルガー
訳：角野栄子 出版社：小学館

今から150年以上も前のお話であるアンデルセンの「人魚姫」は、国も世代も越えて愛されるおはなし。世界中の人たちがこのおはなしに絵を描き、世界にはさまざまな「人魚姫」の絵本が存在しています。今回はオーストリアの絵本画家ツヴェルガーの絵と、角野栄子さんの文章による「人魚ひめ」です。

デンマークの作家、オーストリアの絵本画家による絵本です。



かわ 

作・絵：加古里子 出版社：福音館書店

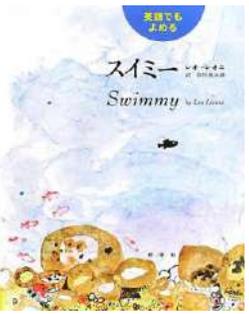
山に積もった雪や雨は流れだして谷川となり、山を下り平野へと流れ、大きな川として海へ注ぎます。作者のかこさとしさんは、「川の生態をできるだけ詳しく描いた」そうです。山から川、川から海、海の水はずっと世界の奥までつながっているのです。さあ「うみをこえていこう。ひろい せかいへ」



漂流物
FLOTSAM 

作・絵：デイヴィッド・ウィズナー 出版社：BL出版

浜辺で遊んでいた少年が一台の水の中カメラを見つけました。現像してみると海の中の不思議な世界が映されています。カメラの写真には、少年が会ったことのないたくさんの子供たちの姿も。この海が世界のあらゆる国とつながっていると感じさせる一冊です。



スイミー
Swimmy 

作・絵：レオ・レオニ 訳：谷川俊太郎 出版社：好学社

オランダ出身の絵本作家レオ・レオニの力作「スイミー」は、世界中の言葉で翻訳され、国を越えて愛される絵本。日本語版は「ちいさなかしこいさかなのはなし」として教科書でも紹介されています。言葉はちがっても、世界のみんが同じ絵を見てこの絵本を読んでいます。今回は2か国語版のスイミーを紹介します。



ターちゃん と ペリカン
Come Again, Pelican 

作・絵：ドン・フリーマン 訳：西園寺祥子 出版社：ほるぷ出版

毎年夏休みに両親とキャンプに行くターちゃん。毎年そこで出会うペリカンとの交流を通して、ターちゃんの成長が描かれます。海には干潮満潮があることや、海には楽しい出会いがあること、大事なものがさらわれる危険もあるということを小さい子どもたちにも気づかせてくれる絵本です。



鳥の島



作・絵：川端誠 出版社：B.L出版

群れで過ごす鳥の中に、大空にあこがれる一羽の鳥がいました。大空へのあこがれをおさきせず、海のむこうを目指します。しかしその夢は叶わず、海に落ちてしまいます。それでも、そのつぎも、またつぎも…と海のむこうを目指す鳥が積み重なり…。落語絵本を得意とする川端誠さんが描く日本的な海の描写も見ごたえある1冊です。



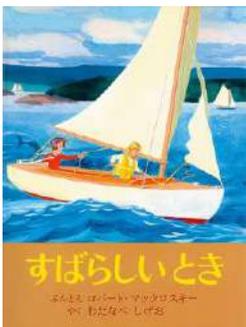
いろいろのしま



플라스틱 섬

作・絵：イ・ミョンエ 訳：生田美保 出版社：ボブラ社

日本海のおもむきの韓国の絵本です。海のまん中に浮かぶ小さな島は、「いろいろのしま」であふれるプラスチックの島。島の動物たちは、この「いろいろのしま」を人間がだしたプラスチックのごみとは知らず、戯れ、そして傷つきます。表と裏表紙の違いを読み取ってください。鳥の目線で描かれています。



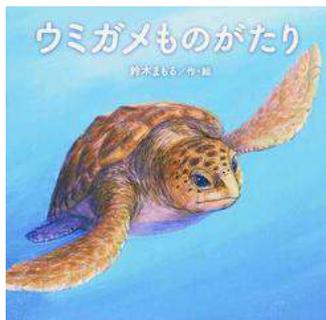
すばらしいとき



Time of Wonder

文・絵：ロバート・マックススキー 訳：わたなべしげお 出版社：福音館書店

アメリカのメイン州の小島でひと夏を過ごす家族のお話。海辺で過ごす時間の中で、穏やかな海のやさしさも、夏の海の楽しさも、そして嵐の恐ろしさも描かれます。海のそばで暮らす人々は海との付き合い方をちゃんと知っています。あたたかな父親の言葉から娘への愛情と海への愛が感じられる絵本です。

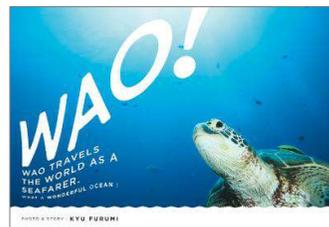


ウミガメものがたり



作・絵：鈴木まもる 出版社：重心社

日本で生まれたウミガメは潮の流れにのって、1万キロを旅してカリフォルニアの海に向かいます。ちいさなガメには、陸の上でも海の中でも、命をねらう動物や、人間の出したゴミの危険がおそいかります。それでもウミガメはたくましく海を旅して、大きくなってまた日本に帰ってきてくるのです。この日本でわたしたちは彼らに何ができるでしょう。



WAO! 海の旅人ワオの物語



写真・文：古見きゆう 出版社：小学館

この本の主人公はウミガメの”ワオ”。ワオと一緒に海の中のさまざまな生き物とその暮らしに出会えます。迫力あふれる海中写真からは、まるで生き物たちからの声が聞こえてくるような…。彼らの生き生きとした姿から、海の世界の楽しさが伝わる写真絵本です。

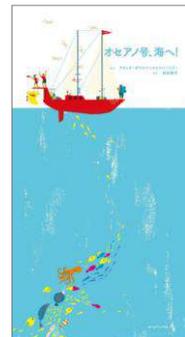


星と海と旅するカヌー



作：うちのかなこ 絵：やまざきゆきこ 出版社：きみどり工房

ハワイには「ホクレア号」という星をよみながら海を旅するカヌーがあります。星の声、波の声、風の声、生き物たちの声を頼りに、向こうの島を目指します。なにもないように見える海の上でも、自然はちゃんとその行先を教えてください。なにもないように見えるのは、わたしたちが耳を傾けていないだけなのかもしれません。



オセアノ号、海へ!



OCEANO

作：アヌック・ボワロベール、ルイ・リゴール 訳：松田素子 出版社：アノニマ・スタジオ

青い海、静かな海、みなとの海、嵐の海…。この本の中にあるのは、わたしたちが見ている海面の、その下の世界。それは想像以上にぎやかで、いのちに溢れ、美しい。人間の見えていない世界の広さを知り、その世界をのそてみてくるとなると。



つのはねのぼうけん



The Antlered Ship

作：ダシュカ・スレイター 絵：テリー・ファン、エリック・ファン 訳：田元明日菜 出版社：化学同人

「せいかいは どのくらい ひろいだろう」
なんでも知りたがりかつねのマルコは港にきたつのはねの船長の誘いをうけて、動物たちと大海原の冒険へ出かけます。冒険には苦労がつきものですが、それでも目指す先には夢があります。目的の場所にたどり着いたとき、マルコが発見したのは…。マルコと一緒に海の冒険にでかけましょう。

カナダの作家による、アメリカ合衆国(原作)出版元の絵本です。



ぼくはひとりで

Hành Trình Đầu Tiên



作・絵：フン・グエン・クアン、フィン・キム・リエン
訳：はっとりこまこ 出版社：富山房インターナショナル

絵本の舞台はベトナムのメコン川流域。この地域では雨の多い季節になると川の水があふれ、子供たちはボートで学校へ通わなくてはなりません。激しい波や雨の中、ひとりだけのボートの旅は心細いもの。しかしまわりのさまざまな動物たちの姿に励まされ、少年は川むこうを目指します。



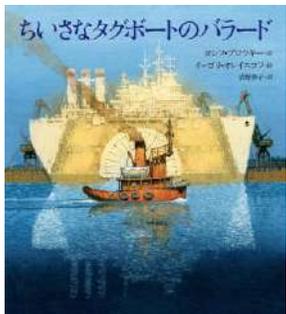
海のひかり

OCEAN SUNLIGHT



作：モリー・バング、ベニー・チザム 訳：さくまゆみこ 出版社：評論社

私たち人間は陸の上で生き、海の世界を知りません。しかし海の中にも太陽のひかりはふりそそぎ、海の中の植物プランクトンは育ち、光合成により酸素は生まれ、そして地球全体にその酸素は注がれるのです。この絵本では、海の命のめぐりが美しい絵とともに物語られます。巻末の説明ページもお見逃しなく。



ちいさなタグボートのバラード

Баллада о маленьком буксире



詩：ヨシフ・プロツキー 絵：イーゴリ・オレイニコフ 訳：沼野春子
出版社：東京外国語大学出版

港で働くタグボートのおはなしです。タグボートは港に寄る、世界各地からくる大型船との出会いと別れを繰り返し、まだ見ぬ海へ憧れを抱きつづけています。ロシアのノーベル文学賞詩人と国際アンデルセン賞を受けた画家による幻想的な絵本です。



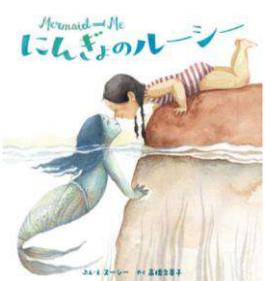
プラスチックのうみ

The Mess That We Made



作：ミシェル・ロード 絵：ジュリア・ブラットマン 訳：川上拓士 出版社：小学館

「ごみです。ぼくたちが すてた ごみです。」「さかなです。ぼくたちがすてた ごみのなかでおよく、さかなです。」ページをめくるたび言葉は積み重ねられ、ごみはどんどんふえていきます。この本を日本語に訳したのは当時小学5年生の男の子。日本は世界で2番目に1人あたりのプラスチックごみが多い国と言われます。今私たちにできることを考えてみましょう。



にんぎょのルーシー

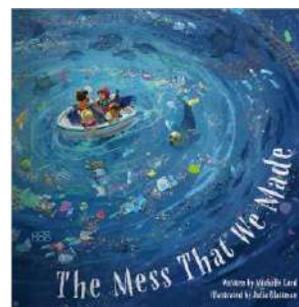
Mermaid and Me



作：スーシー 訳：高橋久美子 出版社：トゥーフージンズ

小さい頃から人魚が大好きだったわたし。誰にもわかってもらえませんでした。ある日、本当に人魚と出会い、仲良しのともだちとなります。しかし人魚がごみだらけの海で、嵐に巻き込まれてしまい…。ともだちを助けたいという思いがわたしとそのまわりのともだちを動かします。ウクライナ出身のイラストレーターによる絵本。

ウクライナ出身の作家による、アメリカ合衆国（原作）出版元の絵本です。



The Mess That We Made



作：Michelle Lord 絵：Julia Blattman 出版社：Flashlight Press

日本語訳の本「プラスチックの海」の英語版（原作）です。読み進めるページのほとんどが「the mess that we made=わたしたちが作っためっちゃくちゃな状態」としめくられています。そして、ラストは「the OCEAN that WE save !=「わたしたちが」救う海」と絵本はおわります。「WE=わたしたち」の表記に作者の気持ちが表れています。日本語版とあわせて、この絵本にふれてみてください。



ヤマネコとアザラシちょうさだん



作・絵：五十嵐美和子 出版社：PHP研究所

おじいさんがたおれているアザラシを助けると「ゲホッ、ゲホッ！」口からビニール袋が飛び出しました。海のゴミを間違えて食べてしまうアザラシたちは、うみをきれいにするためアザラシ調査団として世界中へ散らばり、人間の手助けを求めにやってきたのです。おじいさん、ヤマネコさん、そして世界中の人々が少しずつ協力し、海がきれいになります。



せかいの海のおはなし展

開催期間： 2022年7月15日～8月23日

開催場所： 1階 児童書コーナー

展示内容： 選書絵本23冊 + カレード司書による選書本

期間中来館者数： 41,958名

学びの杜ののいち カレード





せかいの海のおはなし展

かほく市立中央図書館

開催期間： 2022年7月15日～8月23日

開催場所： 1階 フロント前コーナー

展示内容： 選書絵本23冊 + かほく市立中央図書館司書による選書本

期間中来館者数： 17,691 名





せかいの海のおはなし展

小松市立空とこども絵本館

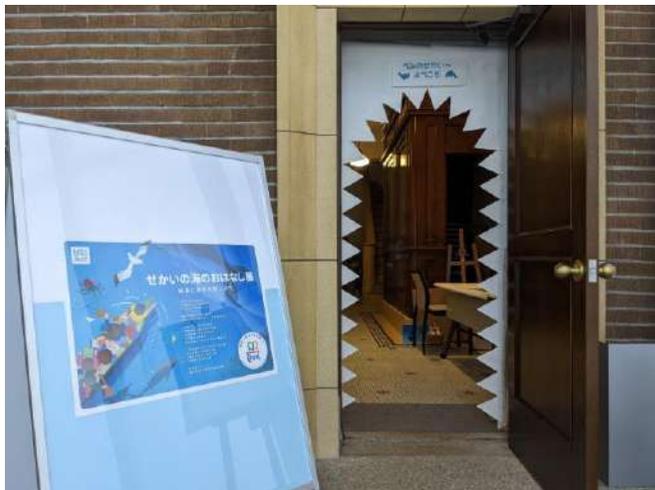
開催期間： 2022年7月17日～8月23日

開催場所： 別館絵本館ホール 夢の本棚 (7月17日～23日)

本館1階 特設棚 (7月24日～8月23日)

展示内容： 選書絵本23冊 + 空とこども絵本館司書による選書本

期間中来館者数： 159名





せかいの海のおはなし展

小松市立空とこども絵本館

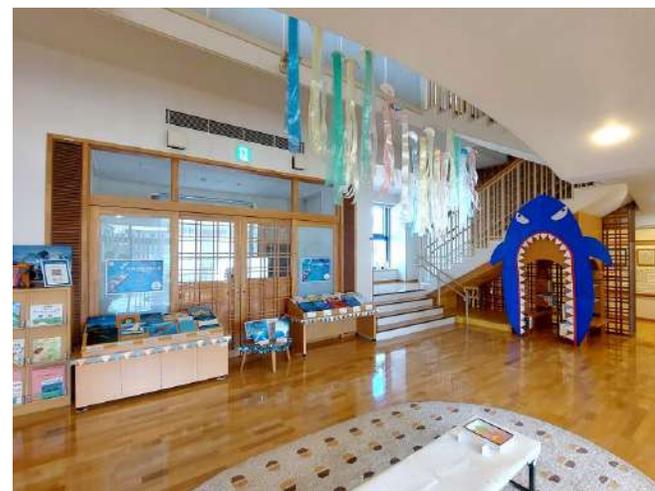
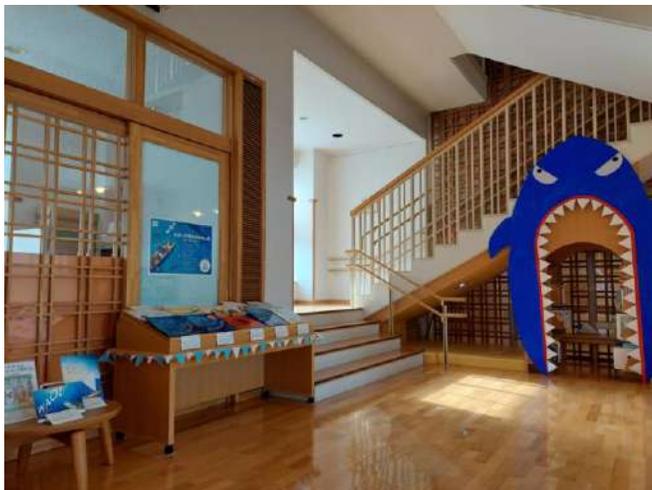
開催期間： 2022年7月15日～8月23日

開催場所： 別館絵本館ホール 夢の本棚 (7月17日～23日)

本館1階 特設棚 (7月24日～8月23日)

展示内容： 選書絵本23冊 + 空とこども絵本館司書による選書本

期間中来館者数： 1, 726名





せかいの海のおはなし展

金沢海みらい図書館

開催期間： 2022年8月4日～8月23日

開催場所： 1階 児童書コーナー

展示内容： 選書絵本23冊

期間中来館者数： 18,032名





せかいの海のおはなし会

「世界の海」とのつながりについて考える絵本のおはなし会を開催。
絵本の読み聞かせだけでなく、海の歌や、世界の海のクイズなども取り入れ
おはなしを聞くだけでない展開に工夫をし、「海」への好奇心を育む会として展開しました。

開催日時：2022年7月15日～8月23日中 全8回

対象：幼児～小学生低中学年の親子

参加人数：210名（全8回）

開催場所：金沢市立金沢海みらい図書館

小松市立空とこども絵本館

野々市市立学びの杜ののいち カレード

かほく市立中央図書館

協力：石川子ども文庫連絡会

金沢市立金沢海みらい図書館、小松市立空とこども絵本館

野々市市立学びの杜ののいち カレード、かほく市立中央図書館

開催期間： 2022年7月17日 14：30

開催場所： 1階 音楽スタジオ

参加人数： 36名

協力： 石川子ども文庫連絡会（ゆりかご文庫、ゴンドラ文庫）





7月17日 学びの杜のいちカレード 「せかいの海のおはなし会」 絵本リスト

- ・絵巻じたてひろがるえほんかわ / 作・絵：加古里子、出版社：福音館書店
- ・世界じゅうの海が（※朗読） / 作：マザーグース、訳：北原白秋、角川文庫
- ・自然スケッチ絵本 海のこと / 文：キャスリン・シル、絵：ジョン・シル、訳：原田佐和子、出版社：玉川大学出版部
- ・にじいろのさかな / 作・絵：マーカス・フィスター、訳：谷川俊太郎、出版社：講談社
- ・うみのむこうは / 作・絵：五味太郎、出版社：絵本館
- ・ペンギんたいそう / 作：齋藤 槇、出版社：福音館書店

7月17日 学びの杜ののいち カレード 「せかいの海のおはなし会」

参加者アンケートより

- ・ 今まで知らなかった生き物が知ることができて楽しかった。
- ・ 海の大切さを知って、海のゆたかさをたもちたいと思った。
- ・ せかいのなまえが知ることができて楽しかった。
- ・ 自然だけでなく、人とのつながりも感じました。（五味太郎の絵本で）
- ・ うみのなかをしりました。
- ・ 絵本をよむだけでも海を十分感じられると思いました。実際に海に行きたくなりました。
- ・ 自分が人魚になってきれいなお魚といっしょにおよぎたいと思った。
- ・ 海のはんたいがわに行きたい。

幼稚園児～小学生中学年まで、幅広い層に来場いただきました。

おはなし会では、マザーグース「世界中じゅうの海が」の詩の朗読や「海」のうたのグロッケンの演奏などがプログラムにふくまれ絵本のおはなしだけでなく、さまざまな内容での「せかいの海」へのアプローチが展開されました。

会の途中では、海の船員気分にするため、新聞紙で折られた帽子が配られ、

そして、その中からは「世界の言葉のあいさつ」が書かれたカードが出てきました。

こどもたちが初めて見る言語でのあいさつにもふれ、海のむこうの世界の人たちとのコミュニケーションについても触れた会となりました。



開催期間： 2022年7月17日 10：30

開催場所： 2階 和室

参加人数： 24名

協力： かほく市立中央図書館、やまんばおはなしの会



7月17日 かほく市立中央図書館 「せかいの海のおはなし会」 絵本リスト

- ・うみのむこうは / 作・絵：五味太郎、出版社：絵本館
- ・うさこちゃんとうみ / 文・絵：ディック・ブルーナ、訳：いしいももこ、出版社：福音館書店
- ・うらしまたろう（紙芝居） / 文・奈街三郎 画・工藤市郎、出版社：教育画劇

参加者アンケートより

- ・今日海のことを学んで、コロナ禍が終わったら、船に乗って外国へ行ってみたいと思いました。
- ・海の環境解決のためにももっと本を読みたいです。
- ・これから海へ遊びに行ったとき、「絵本で見たね」と話が広がりそうだった。
- ・とても楽しかったです。子どもも大人も楽しめました。ぜひこのようなおはなし会を続けてください。



7月23日開催 空とこども絵本館

開催期間： 2022年7月23日 10：30

開催場所： 小松市立空とこども絵本館 絵本館ホール 夢の本棚

参加人数： 46名

協力： 小松市立空とこども絵本館



7月23日 空と海の絵本館「せかいの海のおはなし会」 絵本リスト

- ・あつい あつい / 作：垂石 眞子、出版社：福音館書店
- ・うみのむこうは / 作・絵：五味 太郎、出版社：絵本館
- ・ウミガメものがたり / 作・絵：鈴木まもる、出版社：童心社

7月23日 空とこども絵本館 「せかいの海のおはなし会」

参加者アンケートより

- ・ウミガメのはなしがおもしろかった。
- ・海をきれいにしたら、きれいになるとわかった。
- ・普段手にとらない自然系の絵本など子ども子供に紹介できてよかった。
- ・小さなスペースでしたが、各国の絵本が厳選されて並べられていました。

過去の名作から最新の絵本まであり、興味深かったです。子ども供も喜んでいました。

空とこども絵本館では、絵本館ホール空間すべてを貸し切った絵本展開催であったため
来場された際の展示空間へのよろこびの声を直接多く聞き取れました。

しかし比較的幼いお子様連れの来場が多く、会の途中でお子様の対応で退場してしまう方もいらっしゃいました。
(アンケートを記入することも困難で、来場数に見合ったアンケート回収ができませんでした。)

おはなし会開催時も、手に取りやすい場所にたくさんの絵本が展示されており
おはなし会直前や開催後までお子様たちが絵本に夢中になる姿がよく見られました。



開催期間： 2022年7月31日 10：30

開催場所： 2階 和室

参加人数： 29名

協力： かほく市立中央図書館、やまんばおはなしの会



7月31日 かほく市立中央図書館 「せかいの海のおはなし会」 絵本リスト

- ・うみ／ 作：岸田 衿子、絵：長 新太、出版社：ひかりのくに
- ・ペンギんたいそう ／作：齋藤 楨、出版社：福音館書店
- ・ウミガメものがたり ／ 作・絵：鈴木まもる、出版社：童心社

参加者アンケートより

- ・年齢的（子供が3歳）に、海ガメの絵本がむずかしかった。
- ・親子のスキンシップにもなりました！
絵本も楽しかったですが、からだをつかった遊び方があったら楽しそうです。



幼いお子様の参加もみられたため「ペンギンたいそう」では体を使った体操もとりいれて展開。

保護者の方にも向けて、世界の海の環境に寄った絵本（ウミガメものがたり）を取り入れた絵本もいれて進行しました。

8月4日開催 学びの杜ののいち カレード

開催期間： 2022年8月4日 11:00

開催場所： 1階 音楽スタジオ

参加人数： 26名 ※記録的豪雨による来場影響あり

協力： 石川子ども文庫連絡会（ゆりかご文庫、ゴンドラ文庫）



8月4日 学びの杜ののいちカレード 「せかいの海のおはなし会」 絵本リスト

- ・うみのはなし 復刊かこさとし紙芝居 かがくのいりぐち／脚本・絵：かこさとし、出版社：童心社
- ・スイミー（ビッグブック）／作：レオ＝レオニ、訳：谷川俊太郎、出版社：好学社
- ・漂流物／作・絵：デイヴィッド・ウィーズナー、出版社：BL出版
- ・ペンギんたいそう／作：齋藤 槇、出版社：福音館書店

8月4日 学びの杜ののいち カレード 「せかいの海のおはなし会」

参加者アンケートより

- ・海の本が探せてよかった。
- ・おはなしが楽しかった。
- ・海に興味をもち、知れたことがよかったです。
感染予防のため、もう少し間隔があってもよかったです。
- ・未就学児には少し難しかったようです。
- ・もう少し海の知識を詳しく知れる本や情報があれば、子どももひきつけられたと思う。
こんな機会はとても大切なので来てよかったです。
- ・地球儀の風船はよかった。歌を歌ったり、クイズをしたり、子どもにさせることがよかった。

石川県内の記録的豪雨の中での開催となった。

図書館来館者が少ない中ではあったが、定員以上26名（子ども15名、大人11名）の参加があり紙芝居や大型絵本等を通して、海のおはなし会を開催した。

「うみのはなし」の紙芝居での後には、おはなしの中ででてき海についてのクイズも行い、子どもたちの海に対する好奇心あふれる発言も聞くことができた。



8月13日開催 金沢海みらい図書館

開催期間： 2022年8月3日 11：00 / 14：30 ※2部開催

開催場所： 1階 交流ホール

参加人数： 21名 / 21名 (計42名)

協力： 石川子ども文庫連絡会 (アリス文庫ほか)



8月13日 金沢海みらい図書館「せかいの海のおはなし会」 絵本リスト

- ・ こうしんきょく (「うたのてらんかい」より ※詩の朗読) / うた：くどうなおこ、絵：長新太、出版社：理論社
- ・ 紙芝居 ターチャンとペリカン / 作・絵：ドン・フリーマン、訳：八木田 宜子、出版社：ほるぷ出版
(折り紙シアター：船長さんのシャツ)
- ・ スイミー (ビッグブック) / 作：レオ＝レオニ、訳：谷川俊太郎、出版社：好学社
(わらべうた)
- ・ プラスチックのうみ / 作：ミシェル・ロード、絵：ジュリア・ブラットマン、訳：川上 拓土、出版社：小学館

8月13日 金沢海みらい図書館 「せかいの海のおはなし会」

参加者アンケートより

- ・世界の海のゴミの量の多さにびっくりでした。(6歳)
- ・海のことについて知れたし、歌も知れて楽しかった。
- ・プラスチックのことについて知れてよかった。(9歳)
- ・プラスチック製品を使わないようにしようと思った。(40代)
- ・テーマに沿った絵本、わらべうた、折り紙などの紹介がよかった。
- ・内容が盛りだくさんで、充実した時間を過ごせました。ありがとうございます。(60代)
- ・プラスチックのゴミを減らそうと思いました。(7歳)
- ・海の子とを知れて楽しかった。海のプラスチックひろいを試みたくなった。(8歳)

幼いお子様から小学生中学年まで幅広い層の参加があった。

絵本だけでなく、新聞紙シアターのお話をとりいれた「せんちょうさんのシャツ」の話が好評だった。

最後の絵本となった「プラスチックのうみ」から、海のプラスチック問題について関心を寄せたコメントが多く寄せられた。



8月14日開催 かほく市立中央図書館

開催期間： 2022年8月14日 10：30

開催場所： 2階 和室

参加人数： 7名

協力： かほく市立中央図書館、やまんばおはなしの会



8月14日 かほく市立中央図書館 「せかいの海のおはなし会」 絵本リスト

- ・いわしくん / 作・絵：菅原たくや、出版社：文化出版局
- ・絵巻じたてひろがるえほんかわ / 作・絵：加古里子、出版社：福音館書店
- ・うみやまがっせん / 原案：上沢謙二、文：長谷川摂子、絵：大島英太郎、出版社：福音館書店

8月14日 かほく市立中央図書館 「せかいの海のおはなし会」

参加者アンケートより

- ・雨が山から川を流れて海へたどり着くのが、見た目でわかりやすく、大人も楽しめました。
- ・絵本だけでなく、手遊びやカードあそびがあって、子どもも飽きることなく参加していた。
- ・海を楽しく理解できた。
- ・今話題の環境問題をわかりやすく親しめていい。

お盆期間中の開催となり、少数参加によるおはなし会となった。
手あそびうたもまじえて、小さなお子様も飽きさせず進行し
絵巻仕立ての「かわ」の絵本を通して、川と町と海のつながりを感じる
おはなし会となった、





せかいの海のおはなし展 図書館来館者数

	図書館 総来館者	絵本ポート展示来場者 (児童書コーナー)	
金沢海みらい図書館	18,032	5,410	8/4~8/23
小松市立空とこども絵本館	1,885	1,885	7/15~7/23絵本館ホール(10:00~12:00のみ)159名、7/24~8/15:本館1,726名
学びの杜ののいち カレード	41,958	12,587	7/15~8/23
かほく市立中央図書館	17,691	5,307	7/15~8/23
合計	79,566	25,189	期間中4館の 展示来場者 概数



せかいの海のおはなし会 参加者数 (定員あり)

		子供	大人	計
7月17日	かほく市立中央図書館	9	15	24
7月17日	学びの杜ののいち カレード	18	18	36
7月23日	小松市立空とこども絵本館	22	24	46
7月31日	かほく市立中央図書館	18	11	29
8月4日	学びの杜ののいち カレード	15	11	26
8月13日	金沢海みらい図書館 (午前)	11	10	21
8月13日	金沢海みらい図書館 (午後)	10	11	21
8月14日	かほく市立中央図書館	4	3	7
	合計	107	103	210

せかいこども海会議 in いしかわ

開催日時：2022年8月23日

開催場所：金沢市立金沢海みらい図書館

募集期間：2022年7月17日～8月14日

募集案内：金沢市立小学校配布、野々市市立小学校配布

各図書館・市町立施設でのチラシ&ポスター配布

(新聞掲載告知 ※新聞告知は事業外として実施)



せかいこども海会議 in いしかわ

子どもたちと「世界の海」について考えるワークショップを金沢海みらい図書館で開催
海の探検家や在日外国人ゲストのはなしを聞いた後、「自分たちが海を守るためにできること」を考える。

開催期間：2022年8月23日 14：00～16：15

開催場所：金沢市立金沢海みらい図書館 1階 交流ホール

内容 ：

- ・世界を旅する水中写真家 古見きゅうさんのはなし
- ・石川県在住の海外出身ゲストによる各国の海の文化のパネルトーク
- ・子どもたちが「自分が海のためにできること」を考えるグループワークショップ

協力 ：金沢海みらい図書館 ほか

参加者 ：96名









せかいこども海会議 in いしかわ section 1

世界を旅する水中写真家 古見きゅうトーク 「つながる海 と 海のなかま」

日本や世界の海のいきもの話から、海の中の現状、海のつながりを写真とともにパネルトーク。
会場の子どもたちとクイズなどの掛け合いをいれながら、海のいきものの楽しい話を繰り広げた。
また、それだけでなく海の中の現状をゴミに苦しむ生き物の写真とともに紹介し、子どもたちへ海洋問題を提起した。
開催前に子どもたちからゲストへ寄せられた質問に対するQ&Aも行い、海に対する子どもたちの好奇心に応える内容とした。
<ゲスト> 古見きゅう (世界を旅する水中写真家)





海外出身ゲストとの「せかいの海」パネルトーク

石川県在住の海外出身ゲスト（※コロナ禍のため、海外留学生から石川在住ゲストへ変更）を招き、「せかいの海」のパネルトークを展開。自身の生まれた地における海の紹介、海の文化やその取り組みについて、写真とともに紹介した。事前に子どもたちから寄せられた質問（「日本との海のちがいを教えてください」「海にどんな生きものがありますか。」「海にゴミは多いですか。」）に受け答えしながら、世界の人たちが海に対して行う取り組みを直接聞く機会となった。ゲストの全員が「石川県の海は汚い!」と意見し、参加者たちの意識が変化する良い機会となった。

〈登壇ゲスト〉：ハファさん（ブラジル・リオデジャネイロ出身）、パウロさん（ブラジル・ナタール出身）、ジェニーさん（ニュージーランド、ダニーデン出身）、シャーデーさん（USA、バージニア、ポーツマス出身）





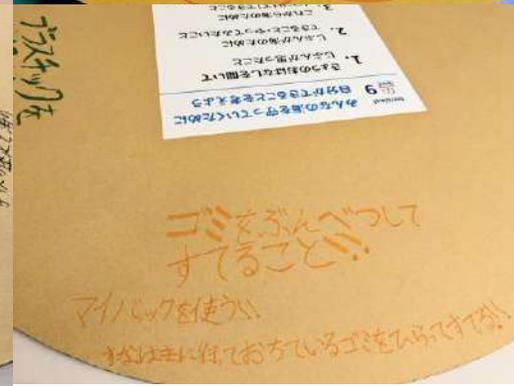
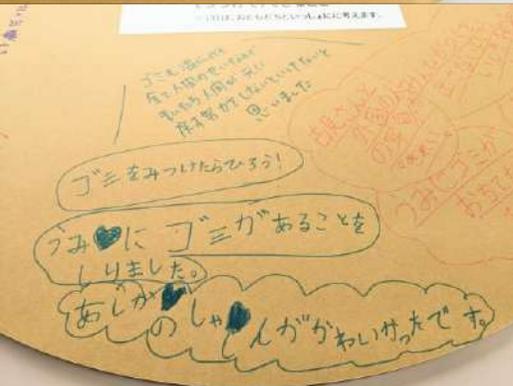
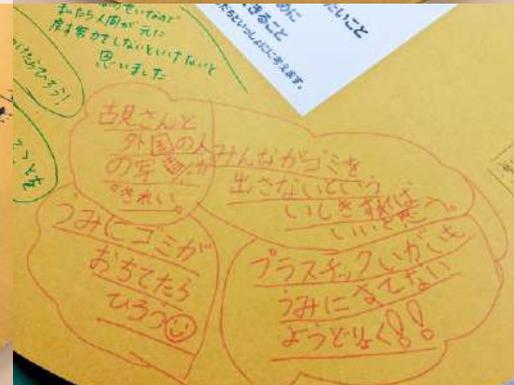
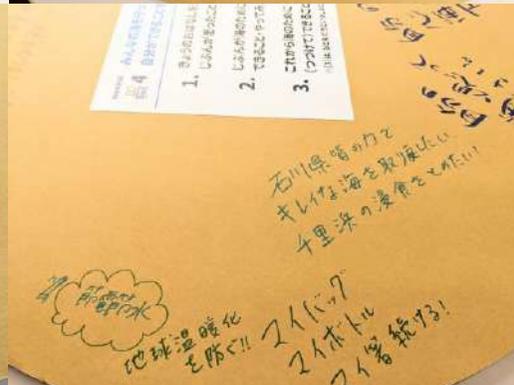
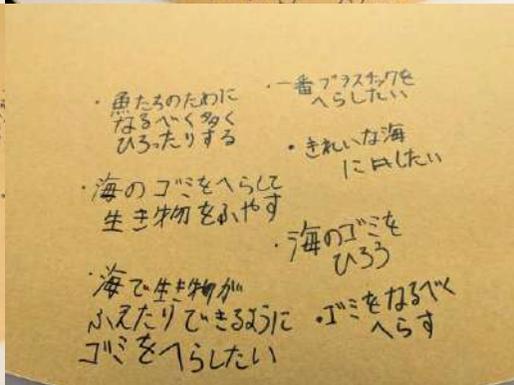
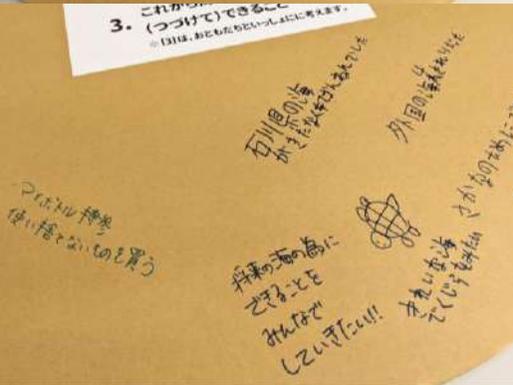
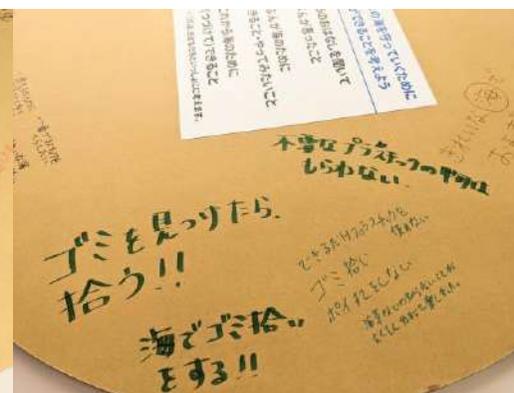
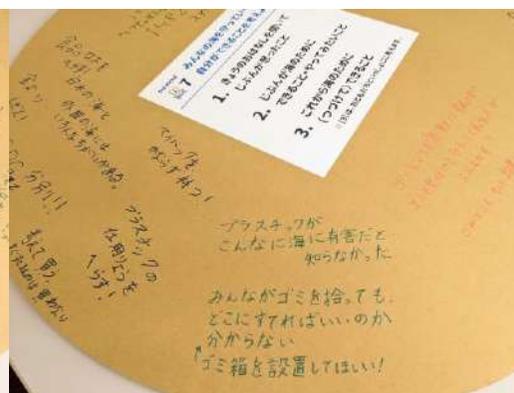
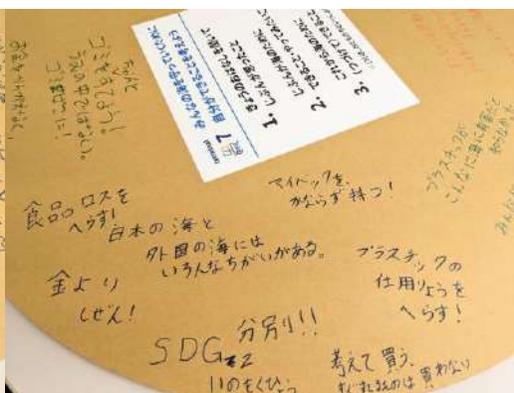
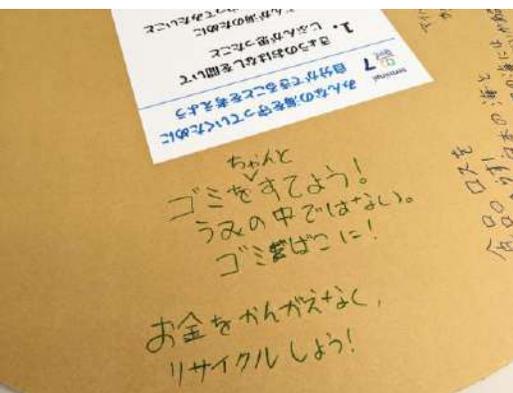
「海を守るためにできること」を考えるワークショップ

水中写真家 古見きゅうさんの話、海外出身ゲストの話を経て、自分たちが海に対してできることを考えるワークショップを実施。グループごとに分かれて、「今日の話で感じたこと」「海のためにやりたいこと、やってみたいこと」をメンバーと共有し、これから「自分たちが海のためにできること」をグループで考え、意見発表を行った。

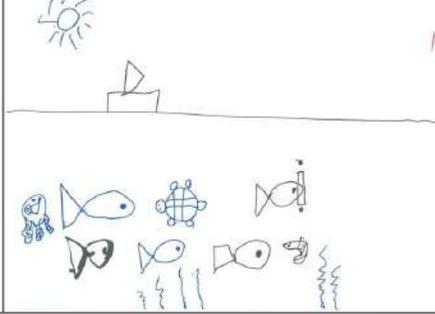
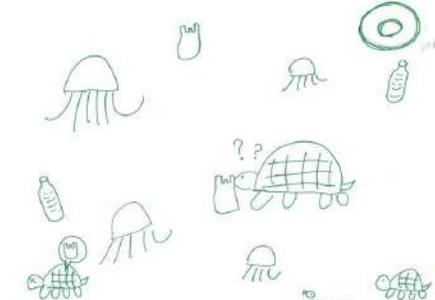
海洋問題を自分ごととして考えるアイデアが多く、この会議から海洋問題と自分との関わりを考える機会となったと感じられた。



「海を守るためにできること」を考えるワークショップ より



「海を守るためにできること」を考えるワークショップより “わたしたちが海を守るためにできること”

<p>U-SEA PROJECT 世界へ旅する絵本ポート @ee</p> <p>わたしたちが海を守るためにできること ～ さあ、アクションはじめよう ～</p> <p>買ったものに行くときは、マイバックを もっていく!!</p> <p>さんぽに行くときはゴミをもらわないか?さんぽする</p>	<p>U-SEA PROJECT 世界へ旅する絵本ポート @ee</p> <p>わたしたちが海を守るためにできること ～ さあ、アクションはじめよう ～</p> <p>海に行くときは、ゴミをすてず、 自分のいねにも、てかえる。</p> <p>海に行くときはゴミはちゃんともてかえる。 マイバックを使用する。 ゴミの分別を学ぶ。</p>	<p>U-SEA PROJECT 世界へ旅する絵本ポート @ee</p> <p>わたしたちが海を守るためにできること ～ さあ、アクションはじめよう ～</p> <p>海に行くときは、ゴミはちゃんともてかえる。 マイバックを使用する。 ゴミの分別を学ぶ。</p>	<p>U-SEA PROJECT 世界へ旅する絵本ポート @ee</p> <p>わたしたちが海を守るためにできること ～ さあ、アクションはじめよう ～</p> <p>海に行くときは、ゴミはちゃんともてかえる。 マイバックを使用する。 ゴミの分別を学ぶ。 海にゴミをすてないこと。</p>
<p>U-SEA PROJECT 世界へ旅する絵本ポート @ee</p> <p>わたしたちが海を守るためにできること ～ さあ、アクションはじめよう ～</p> 	<p>U-SEA PROJECT 世界へ旅する絵本ポート @ee</p> <p>わたしたちが海を守るためにできること ～ さあ、アクションはじめよう ～</p> <p>さんぽに行くときはゴミぶくろをも、 て行く。かいものぶくろをも、て いく。</p>	<p>U-SEA PROJECT 世界へ旅する絵本ポート @ee</p> <p>わたしたちが海を守るためにできること ～ さあ、アクションはじめよう ～</p> <p>さんぽに行くときはゴミぶくろを もっていく 買ったものに行くときはマイバック!</p>	<p>U-SEA PROJECT 世界へ旅する絵本ポート @ee</p> <p>わたしたちが海を守るためにできること ～ さあ、アクションはじめよう ～</p> <p>ペットボトルやレジ袋を 使わない</p>
<p>U-SEA PROJECT 世界へ旅する絵本ポート @ee</p> <p>わたしたちが海を守るためにできること ～ さあ、アクションはじめよう ～</p> <p>海につながる川にゴミを捨てない。</p>	<p>U-SEA PROJECT 世界へ旅する絵本ポート @ee</p> <p>わたしたちが海を守るためにできること ～ さあ、アクションはじめよう ～</p> 	<p>U-SEA PROJECT 世界へ旅する絵本ポート @ee</p> <p>わたしたちが海を守るためにできること ～ さあ、アクションはじめよう ～</p> <p>マイバック、マイゴミぶくろ、マイボトル を持つ</p>	<p>U-SEA PROJECT 世界へ旅する絵本ポート @ee</p> <p>わたしたちが海を守るためにできること ～ さあ、アクションはじめよう ～</p> <p>うみにゴミ捨てしんを付けてほしい。 そうすれば、すてられる</p>
<p>U-SEA PROJECT 世界へ旅する絵本ポート @ee</p> <p>わたしたちが海を守るためにできること ～ さあ、アクションはじめよう ～</p> <p>ゴミを出さないために ペットボトルの蓋は かめな</p>	<p>U-SEA PROJECT 世界へ旅する絵本ポート @ee</p> <p>わたしたちが海を守るためにできること ～ さあ、アクションはじめよう ～</p> <p>海に行ったら必ずゴミを拾う。</p>	<p>U-SEA PROJECT 世界へ旅する絵本ポート @ee</p> <p>わたしたちが海を守るためにできること ～ さあ、アクションはじめよう ～</p> <p>海に行く時、 ゴミぶくろを持っていく!</p>	<p>U-SEA PROJECT 世界へ旅する絵本ポート @ee</p> <p>わたしたちが海を守るためにできること ～ さあ、アクションはじめよう ～</p> 

8月23日 金沢海みらい図書館 「せかいの海のおはなし会」

参加者アンケートより

- ・海を守りたい！
- ・自分がもし海の中に住んでいたら辛い。
- ・あんまりしっかり考えたことがなかったので、いい経験ができました。これからは同じ生き物同士として気持ちを考えてあげたいです。
- ・汚い海をきれいな海にしていきたいなと思いました。
- ・小さなことから自分にできることを考えたいなと思います。
- ・ぽい捨てされたごみゴミを見つけたら拾うようにする！
- ・外国の海はいろんな生き物たちに会えそうなので、行ってみたいと思いました。
- ・海に行くときは、ごみ袋を持っていくようにする。
- ・マイバッグ、マイごみ袋、マイボトルを持つようにする。
- ・お話や写真を見て、ゴミ問題を身近に感じることができました。ありがとうございます。
- ・今度海に行ったらごみゴミを拾ってひろってきれいになりたいです。やっぱりみんなが意識すればいいすると良いと思います！
- ・海外と日本の海への関心度、取り組み方のちがいがわかった。
- ・子どもも自分もとてもいい経験になった。
- ・石川の海は外国人から見たら汚い、ということにびっくりしました。またゴミ拾いしたいです。
- ・「日本の海は汚い！」と海外の方に言われたのが衝撃でした。
海外の人は一年を通して海岸を使うが、日本は海水浴の時期のみですが…そうじもそのときくらいかな、と思っていたので、海のある街はもっと海岸海の掃除そうじをするべきだと思いました。
- ・石川の海を、世界中の海をきれいにしたいです。



新聞朝刊告知

新聞で告知掲載いたしました。（事業外として実施）

● 6月30日 朝刊5段 新聞広告



The illustration shows a green boat with a yellow sail on a blue sea. Inside the boat, several children are depicted from behind, surrounded by colorful books. One child is pointing towards the horizon. The background is a deep blue with white and yellow confetti-like shapes.

世界へ旅する絵本ポート

さあ海のむこうの仲間と出会う旅へ

この夏子どもたちへ向けた絵本のプロジェクトが始まります。

【主催】親と子と絵本ワールドインいわ実行委員会、北國新聞社 【協成】日本財団「海と日本プロジェクト」
【後援】金沢市教育委員会、小松市教育委員会、野々市市教育委員会、かほく市教育委員会、北陸放送、テレビ金沢、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオかなざわ・こまつ・ななほ
【協力】石川子ども文庫連絡会、金沢市立金沢海みらい図書館、小松市立空ととも絵本館、学びの社、のいちカレード、かほく市立中央図書館



世界へ 旅する 絵本ボート

Let's share stories of our ocean by the picture book.

県内図書館にて開催中

■開催期間

7月15日(金)～8月23日(火)

「世界へ旅する絵本ボート」は、絵本を通じて、
こどもたちの「世界の海」への興味を広げ、
世界と協力して海を守る大切さを届けます。

プロジェクトホームページ

www.web.hokkoku.co.jp/ehonboat/



【主催】親と子の絵本ワールドイン・いしかわ実行委員会、北國新聞社 【助成】日本財団「海と日本プロジェクト」
【後援】金沢市教育委員会、小松市教育委員会、野々市市教育委員会、かほく市教育委員会、北陸放送、テレビ金沢、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオかなざわ・こまつ・ななお
【協力】石川子ども文庫連絡会、金沢市立金沢海みらい図書館、小松市立室とこども絵本館、学びの社ののいち カレード、かほく市立中央図書館

せかいこども海会議の
ワークショップから
みんなの海のはなしを世界へ届ける
絵本作成プロジェクトがスタート!

せかいの海のおはなし展

石川県内の図書館で
せかいの海のおはなしの絵本を展示します。
絵本といっしょに世界の海を旅しよう。

開催場所

- かほく市立中央図書館
- 学びの社ののいち カレード
- 小松市立室とこども絵本館
- 金沢海みらい図書館 (8月4日木から)

8月
23日(火)
まで開催

せかいこども海会議 in いしかわ

8月23日(火) 14:00～16:00
(開場13:30)

会場/金沢海みらい図書館

- せかいの 海の探検家のおはなし
水中カメラマン古見きゅうさんと水中写真で海の旅
- 外国人留学生と海についてのQ&Aトーク
- 海のためにできることを考えるワークショップ

「せかいこども海会議
in いしかわ」ゲスト
古見きゅうさん

参加 小学生 募集

- 募集対象/小学生の親子
(とくに小学3～6年生を対象とします。)
- 募集人数/50組100名様
- 応募締切/8月14日(日)
- 応募受付/「世界へ旅する絵本ボート」ホームページから応募ください
www.web.hokkoku.co.jp/ehonboat/より応募ください。
- お問い合わせ/「世界へ旅する絵本ボート」プロジェクト事務局
Tel: 076-269-1088
(9:30～17:00/土日祝除く、2022年7月15日～8月31日まで)

お申込みは
こちらから▶

※当日参加される方の駐車費は、
別途駐車券をご用意しております。
申込受付時にご案内いたします。

海の
ひかり

【お問い合わせ】親と子の絵本ワールドイン・いしかわ実行委員会「世界へ旅する絵本ボート」プロジェクト事務局
Email: ehonboat@nippon-ag.co.jp Tel: 076-269-1088 (9:30～17:00/土日祝日を除く。2022年7月15日(金)～8月31日(水)まで。)



世界へ 旅する 絵本ボート

Let's share stories of our ocean by the picture book.

開催期間 **7月15日(金)～8月23日(火)**

- 開催場所
- 金沢海みらい図書館
 - 小松市立空とこども絵本館
 - 学びの杜ののいち カレード
 - かほく市立中央図書館

詳細情報
詳しい情報は
webサイトまで

「世界へ旅する絵本ボート」は、絵本を通じて、
こどもたちの「世界の海」への興味を広げ、世界と協力して海を守る大切さを届けます。

せかいの海のおはなし展 **8月23日(火)まで開催**

絵本と世界の海を旅しよう。
「せかいの海」への好奇心を刺激する絵本を図書館で特別展示しています。

- 金沢海みらい図書館
- 小松市立空とこども絵本館
- 学びの杜ののいち カレード
- かほく市立中央図書館

世界の海を考える絵本を紹介しています。プロジェクトWEBサイトはこちら!

せかいの海のおはなし会

大きなアースボールといっしょに世界の海のおはなし聞いてみましょう。(絵本の読み聞かせなど)

8月13日(土) 11:00/14:30

- 金沢海みらい図書館

8月14日(日) 11:00

- かほく市立中央図書館

せかいこども海会議 in いしかわ

世界の海の探検家水中写真家古見きょうさんと、外国人留学生と一緒に、これからの海について考えよう。

8月23日(火) 14:00～16:00(開場13:30)

- 金沢海みらい図書館

まもなく申込締切(8月14日)! お申込みはこちらから!

www.web.hokkoku.co.jp/ehonboat/

【主催】親と子の絵本ワールドインいしかわ実行委員会、北越新聞社 【助成】日本財団「海と日本プロジェクト」
 【後援】金沢市教育委員会、小松市教育委員会、野々市市教育委員会、かほく市教育委員会、北海放送、テレビ金沢、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオななほ、こまつななほ
 【協力】石川子ども文庫連絡会、金沢市立金沢海みらい図書館、小松市立空とこども絵本館、学びの杜ののいち カレード、かほく市立中央図書館

【お問い合わせ】親と子の絵本ワールドインいしかわ実行委員会「世界へ旅する絵本ボート」プロジェクト事務局
 Email: ehonboat@nippon-ag.co.jp Tel: 076-269-1088 (9:30～17:00/土日祝日を除く、2022年7月15日(金)～8月31日(水)まで)





世界へ旅する絵本ポート

Let's share stories of our ocean by the picture book.

おはなし会へのたくさんのご参加
ありがとうございました

あと5日で終了

開催期間 7月15日(金)～8月23日(火)

「世界へ旅する絵本ポート」は、絵本を通じて、
こどもたちの「世界の海」への興味を広げ、
世界と協力して海を守る大切さを届けます。

絵本と世界の海を旅しよう。

せかいの海のおはなし展

8月23日(火)まで

「せかいの海」への好奇心を刺激する絵本を
図書館で特別展示しています。

開催場所

- 金沢海みらい図書館
- 小松市立空とこども絵本館
- 学びの杜のいち カレード
- かほく市立中央図書館

「おはなし展」で紹介している
絵本はこちら



① 世界の海 (著: 藤原 浩一、監修: 藤原 浩一、発行: 藤原 浩一、発行: 藤原 浩一)
② フランスの海 (著: フランス共和国、発行: フランス共和国、発行: フランス共和国)
③ アラスカの海 (著: アラスカ州、発行: アラスカ州、発行: アラスカ州)
④ しっぽく (著: 藤原 浩一、発行: 藤原 浩一、発行: 藤原 浩一)

まだまだたくさんあります！



「せかいの海」著者
古見きゅうさん
世界まっしゅん

世界の海の探検家水中写真家
古見きゅうさんと、外国人留学生と一緒に、
これからの海について考えよう。

せかいこども海会議

in いしかわ

8月23日(火)
14:00～16:00(開場13:30)

参加
小学生
募集

本日
申込×切

開催場所 金沢海みらい図書館

- 募集対象 / 小学生の親子 (とくに小学3～6年生を対象とします。)
- 募集人数 / 50組100名様
- 応募受付 / 「世界へ旅する絵本ポート」ホームページから応募ください
www.web.hokkoku.co.jp/ehonboatより応募ください。
- お問い合わせ / 「世界へ旅する絵本ポート」プロジェクト事務局
Tel: 076-269-1088
(9:30～17:00/土日祝を除く、2022年7月15日～8月31日まで)

お申込みは
こちらから▶



※当日参加される方の駐車場は、
別途駐車場をご利用しております。
申込受付時にご案内いたします。

www.web.hokkoku.co.jp/ehonboat/

世界の子どもたちへ 「海の絵本」で交流づくり

- ・石川県の子どもたちの「海へのおもい」を絵本にして制作
- ・海外姉妹都市の図書館へ、海の絵本を寄贈し展示を展開



海外姉妹都市と絵本寄贈による交流

石川の子どもたちの海に対する思いを絵本として制作し、
子どもたちのメッセージを海外の子どもたちへ届けました。

絵本の制作 : 2022年9月～1月

絵本の送付 : 2023年1月18日 発送、配達完了後順次展示スタート

連携海外都市図書館

: バッファロー (USA) 「Buffalo and Erie County Public Library」

Gent (ベルギー) 「Bibliotheek De Krook」

Nancy (フランス) 「Bibliothèques et Ludothèque de Nancy」

全州 (韓国) 「全州市立図書館コッシム」

台南 (台湾) 「台南市立塩田図書館」

ギズボーン (ニュージーランド)

協力 : 金沢市国際交流課、野々市市市民協働課ほか

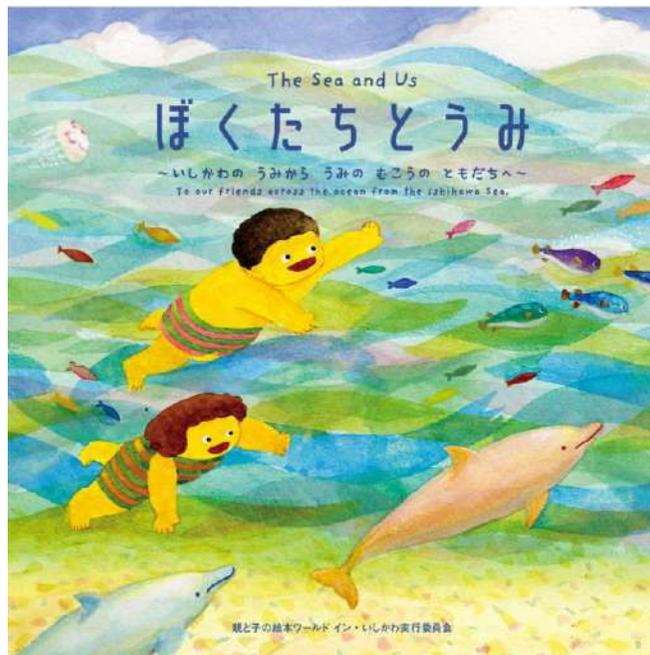
海外姉妹都市と絵本寄贈による交流

絵本の制作

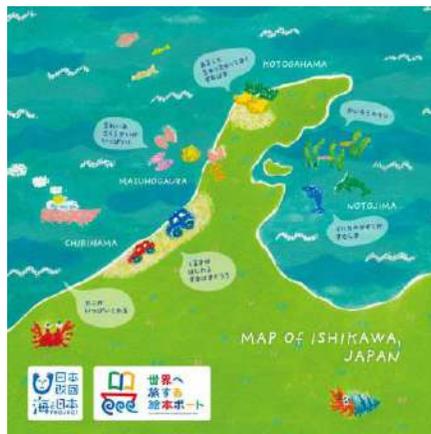
夏に開催した「せかいこども海会議」で参加した子供たちへのアンケートや意見をもとにして石川県のこどもたちが、日頃どのように海で過ごしているか海のむこうについて、どのように考えているか、などの内容をいれて絵本を制作しました。

絵本製作協力 : 絵本編集者 日下淳子、イラスト 木本百合子

絵本制作



表紙



裏表紙

文・構成

絵本編集者・ライター
日下 淳子
Junko Kusaka

出版社での10年間の雑誌編集者を経て
2008年よりフリーランス。

子どもが生まれてから、主に育児、絵本、暮らしを中心に編集・執筆を行っている。現役の音楽教室講師でもあり、保育士経験があることから、親子関連の企画、運営にも携わっている。
白泉社kodomoeや好書好日などで執筆。絵本専門士。



イラスト/

イラストレーター・染色作家
木本 百合子
Yuriko Kimoto

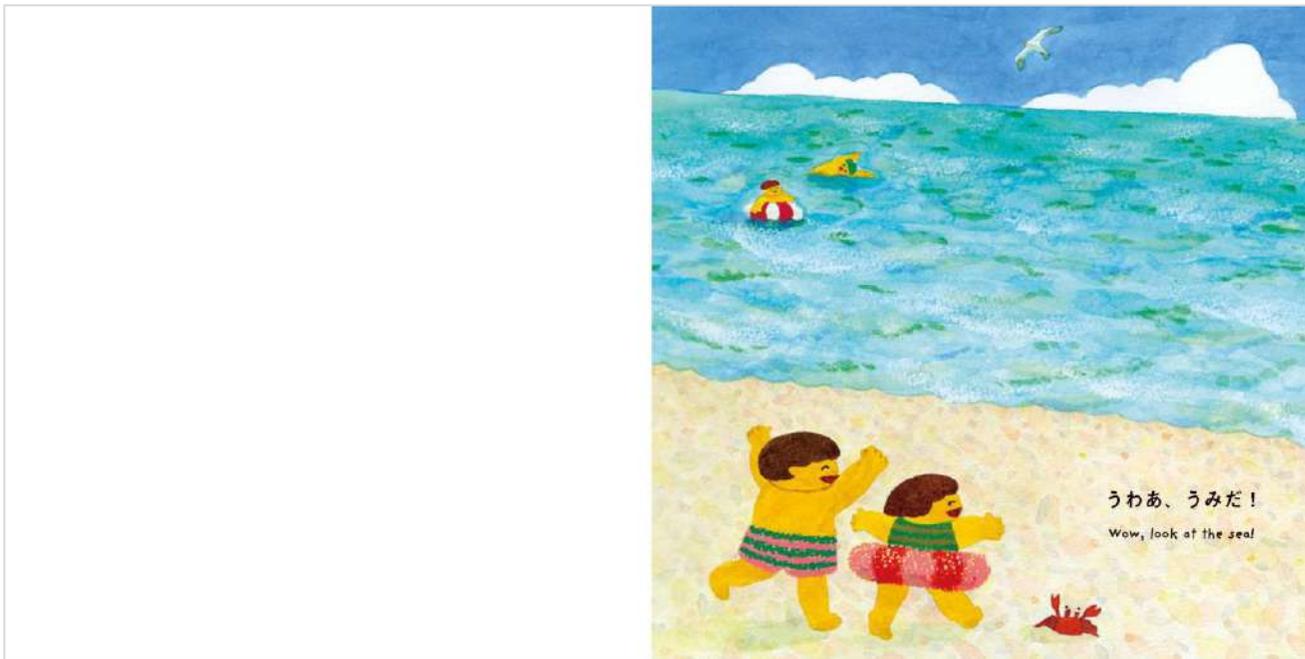
経歴

2019金沢美術工芸大学 工芸科 卒業
2021金沢美術工芸大学大学院 修了
現在、金沢卯辰山工芸工房

賞歴

2022金沢市工芸展 金沢市工芸協会会長奨励賞





うわあ、うみだ！
Wow, look at the sea!



うみの みずって
きもちいい！
The sea water
feels good.

ちいさな さかなが
およいでるよ
Small fish are
swimming!



なみって まるで
いきてるみたい
It feels like
the water is alive.

うみの なかには
いきものが
たくさん すんでるんだね！
Many things live in the sea.



およいだ あとは
ひとやすみ。
Let's take a break
after swimming.

カニさんも
おにぎり たべたいの？
Does Mr. Crab want
to eat a rice ball too?

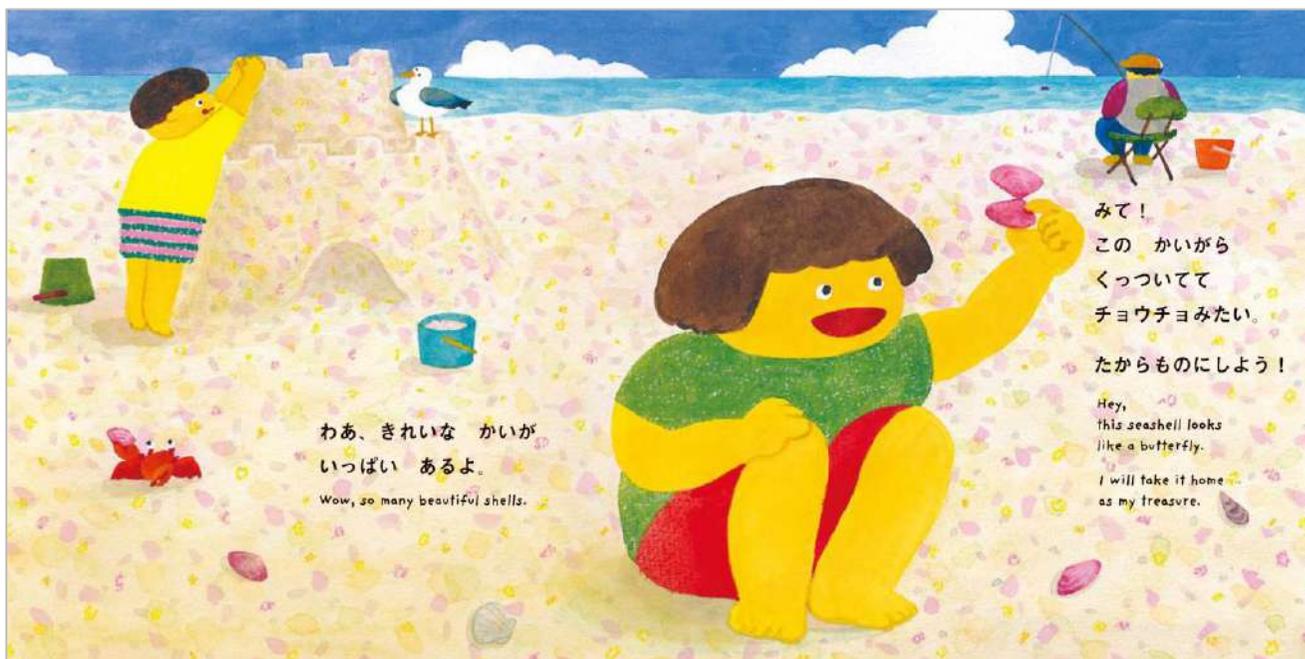


つぎは
おおきな おおきな
すなの おしろを
つくるぞー！

Next, let's make
a very, very big sandcastle.

つくるぞー！

Yeah!



わあ、きれいな かいが
いっぱい あるよ。

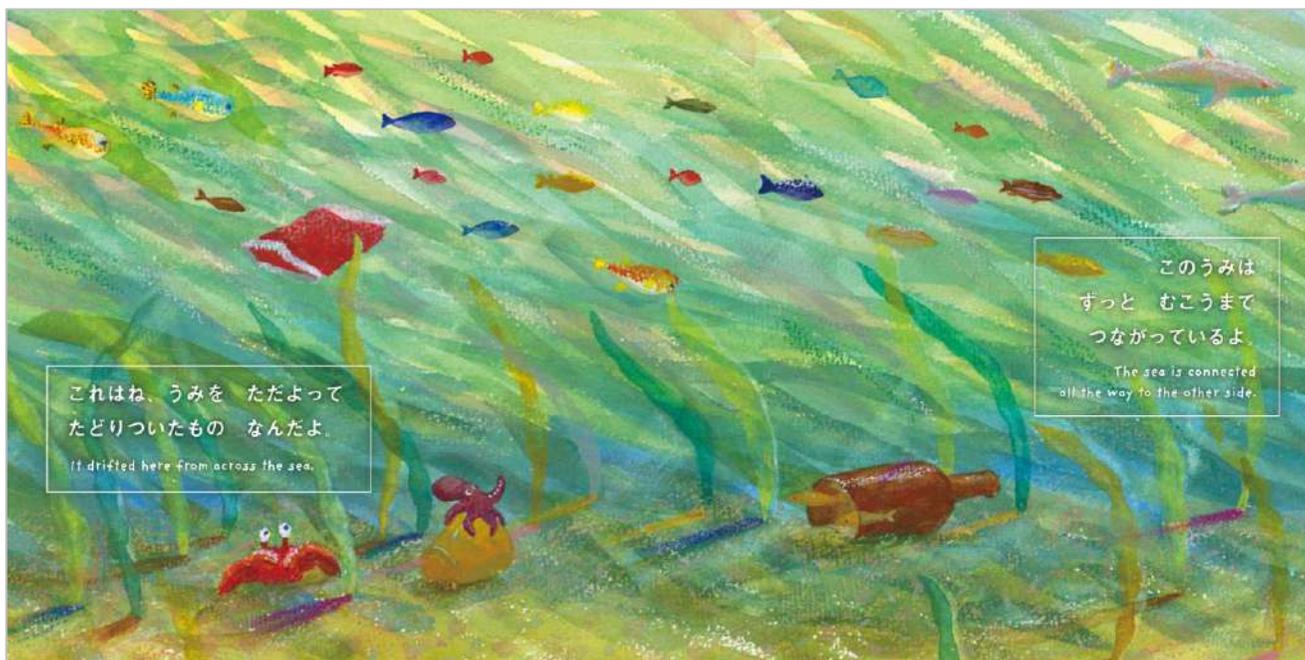
Wow, so many beautiful shells.

みて！
この かいがら
くつついてて
チョウチョみたい。

たからものにしよう！

Hey,
this seashell looks
like a butterfly.

I will take it home
as my treasure.



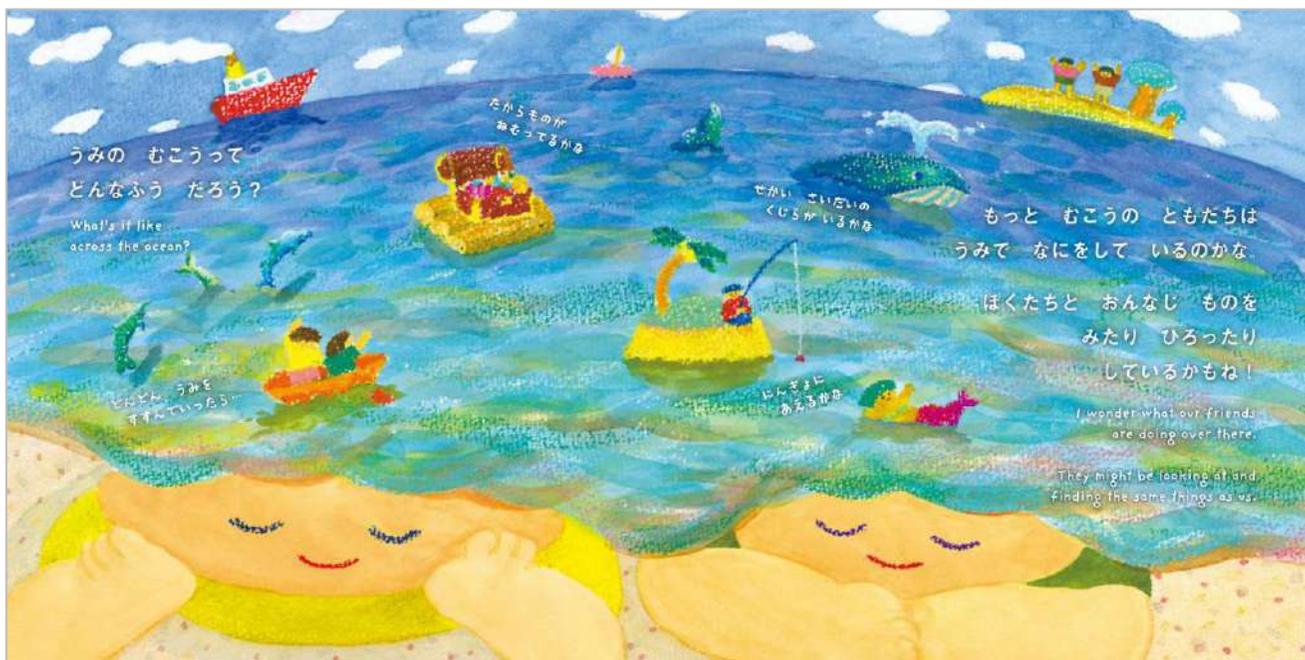


この さきには
イルカのかぞくが
くらしているよ。
おおきな ジンベエザメも いる。

A family of dolphins
live just along here.
There is also
a large whale shark.

もっと むこうに いるのは
もっと おおきな いきもの。
まだ であつたことが ないものが
うみには たくさん ある。

Out there in the open ocean
there are even bigger sea animals.
There are even things
we have never seen before.



うみの むこうって
どんなふう だろう？

What's it like
across the ocean?

じれもん、うみを
すすんでいったら？

たからものが
あそび場がある

せかい、こいごいの
くじらがいるかな

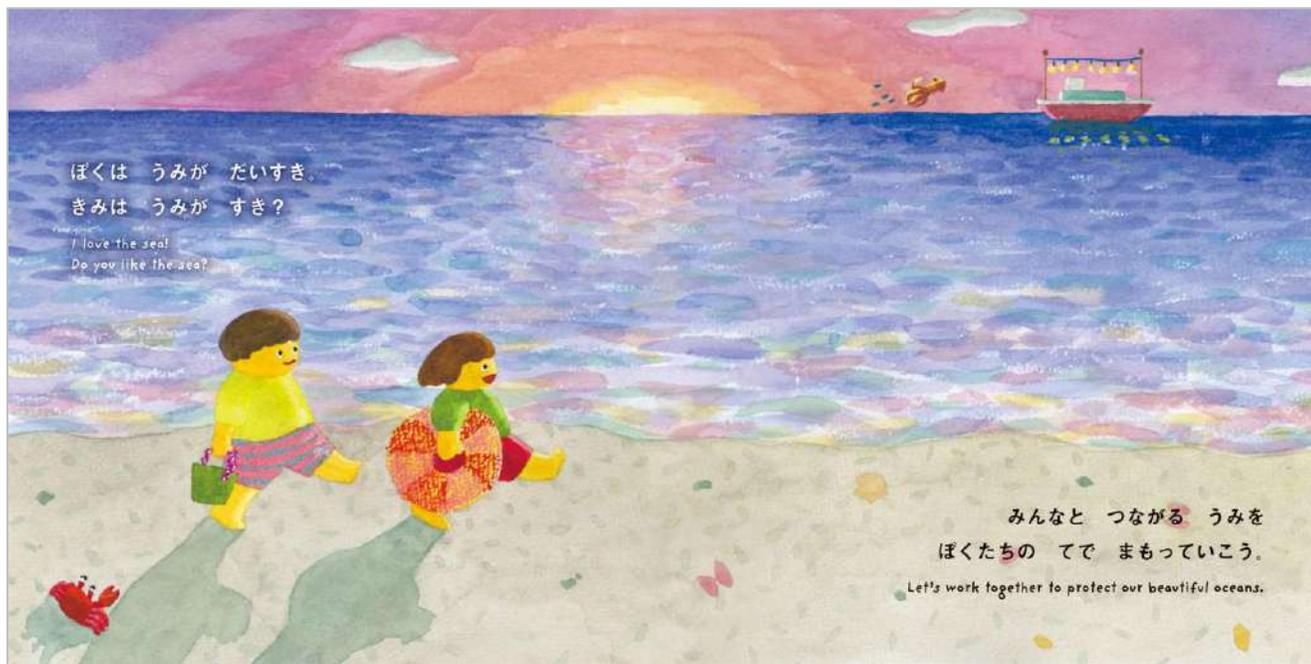
ほんまに
あるかな

もっと むこうの ともたちは
うみで なにをして いるのかな

ぼくたちと おなじし ものを
みたり ひろったり
しているかもね！

I wonder what our friends
are doing over there.

They might be looking at and
finding the same things as us.



石川の花から 海の花こうの友達へ

To our friends across the ocean from the Ishikawa Sea

2022年8月、石川県で「せかいこども海会議 in いしかわ」が開かれました。海で遊ぶことが大好きな子どもたちがたくさん参加し、海を大切にしていきたいという気持ちを話してくれました。石川の子どもたちはこんなふうに考えています。

In August 2022, the "World Children's Sea Conference in Ishikawa" was held in Ishikawa Prefecture. Many children who love to play at the beach participated and talked about wanting to take care of the ocean. These are the children's thoughts.

外国の海では、いろんな生き物が見られると知って、行ってみたいと思いました。(12才)
I want to go see all the sea creatures in other countries. (12 years old)

海をまもりたい！(9才)
I want to protect the sea! (9 years old)

海のごみは1億もあると聞いて、びっくりした。自分がもし海の中にすんでいる魚だったらつらい。(8才)
I was surprised to learn that there is over 100 million pieces of rubbish in the ocean. I would feel bad if I were a fish living in the water. (8 years old)

「せかいこども海会議 in いしかわ」とは？
世界の海の探検家や、外国の人のお話から、自分たちの知らない海のことを学び、身近な海と世界の海とのつながりを知るための、子どもたちの会議です。たくさん子どもたちが海を守るためのアイデアを考えました。
2022年8月23日 富山県立金沢海釣り情報館にて
August 23, 2022 at Kanazawa Minatorial Library

汚い海をきれいな海にしていきたいと思いました。だから、小さなことから自分のできることを考えたいと思います。(12才)
I want to help clean the polluted sea, so I'm thinking about what actions I can take. However small. (12 years old)

今度海に行ったとき、ごみを拾ってきれいにしたいです。みんなで意識すればいいと思います。(10才)
Next time I go to the beach, I want to pick up any rubbish I see. I hope everyone will do the same. (10 years old)

これからは、同じ生き物同士の気持ちも考えてあげたいです。(11才)
I want to treat sea animals with respect. (11 years old)

皆さん、いっしょに海をまもりまほう！
石川にきれいな海を見たい！
Let's protect the ocean together.



世界へ 旅する 絵本ボート

Let's share stories of our ocean by the picture book.

「世界へ旅する絵本ボート」は
「絵本」を通じて
子どもたちの「世界の海」への興味を広げ
世界と協力して海を守ることの大切さを届けます。

The "World Traveling Picture Book Boat" aims
to get children interested in the world's oceans,
using picture books to share the importance of
working together to protect our oceans.

主催：親と子の絵本ワールド イン・いしかわ実行委員会、北國新聞社
共催：日本財団「海と日本プロジェクト」

後援：金沢市教育委員会、小松市教育委員会、野々市市教育委員会、かほく市教育委員会
北陸放送、テレビ金沢、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオかなざわ・こまつ・ななほ
協力：石川子ども文庫連絡会、金沢市立金沢海みらい図書館、小松市立空とこども絵本館、学びの社のいち カレード、かほく市立中央図書館



プロジェクトのお知らせ・ニュース・絵本の紹介は

www.web.hokkoku.co.jp/ehonboat/



このプロジェクトは、
日本財団「海と日本プロジェクト」の
サポートを受けて実施しています。



ぼくたちとうみ

～いしかわの うみから うみの もこうの ともだちへ～

2023年1月発行

製作：親と子の絵本ワールド イン・いしかわ実行委員会、北國新聞社

企画・ディレクター：高西順子（日本エージェンシー）

文・構成：日下淳子

絵：木本百合子

デザイン：鷺見葉津子

翻訳：Jennifer Hakamada

お問い合わせ：ehonboat@nippon-ag.co.jp

この絵本は、日本財団「海と日本プロジェクト」の助成を受け、製作しました。

海外姉妹都市と絵本寄贈による交流

制作絵本の寄贈

制作した絵本は、3冊の日本の海に関する絵本とともに、7都市の海外姉妹都市の図書館へ寄贈し、展示展開しました。

協力 : 金沢市国際交流課、野々市市市民協働課ほか



<寄贈内容>

- メッセージボード (B4)
- 制作絵本
- 翻訳冊子
- うみのむこうは 五味太郎 / 絵本館
- かわ 加古里子 / 福音館書店
- うらしまたろう 時田史郎 秋野不矩 / 福音館書店

絵本寄贈都市 & 図書館

	都市	国名	絵本		図書館	送付先
			受入	展示	図書館名	
1	バッファロー市	アメリカ合衆国	可	可	Buffalo and Erie County Public Library	Buffalo and Erie County Public Library
2	ポルト・アレグレ市	ブラジル連邦共和国	可	可	6図書館を巡回 1.EMEF ネウサ・グーラート・プリゾラ校 2.EMEF ジルベルト・ジョルジ・ゴンサルヴェス・ダ・シルヴァ校 3.EMEF マリオ・キンタナ校 4.EMEF アナ・イリス・ド・アマナル校 5.ポルト・ノーヴォ市立小学校	Porto Alegre City Hall
3	アントワープ市	ベルギー王国	可	可	Bibliotheek De Krook	Bibliotheek De Krook
4	ナンシー市	フランス共和国	可	不可	Bibliothèques et Ludothèque de Nancy	Hôtel de Ville de Nancy
5	全州市	大韓民国	可	可	全州市立図書館コッシム	International Affairs Team
6	台南市	台湾	可	可	台南市立図書館 公園総館	台南市政府新聞及國際關係處 Tainan City Government Bureau of Information and International Relations
7	ギズボーン市	ニュージーランド	可	可	HB Williams Memorial Library	Jan Calder c/o Gisborne District Council Sister Cities

Dear Friends, From Ishikawa, Japan

Children spend every summer playing in the nearby sea, here in Ishikawa Prefecture.

In Japan, there are many picture books about the sea. Picture books teach us about life across the sea and the world under the sea.

We hope through picture books we can share our thoughts about the sea with our international friends, and the importance of taking action to protect the world's seas together.



The "World Traveling Picture Book Boat" aims to get children interested in the world's oceans, using picture books to share the importance of working together to protect our oceans.

About this project



Prezados amigos, De Ishikawa, Japão

Na Província de Ishikawa, vivemos muito próximos do mar.
Todo ano no verão as crianças brincam no mar.

No Japão, existem muitos livros ilustrados sobre o mar.
Esses livros nos contam sobre o mundo do outro lado do oceano e sobre o mundo no fundo do mar que ainda não conhecemos. Através de livros ilustrados, nossos pensamentos sobre nossos mares e oceano chegam aos amigos que moram do outro lado do mar. Esperamos poder tomar medidas para proteger nossos oceanos junto com todo o mundo.



O projeto "O Barco de Livros Ilustrados Viajando ao Redor do Mundo" visa ampliar o interesse das crianças pelos mares do mundo através de livros ilustrados e compartilhar a importância de nos unir para proteger os oceanos.

Sobre o Projeto



Prezados amigos, De Ishikawa, Japão

Na Província de Ishikawa, vivemos muito próximos do mar.
Todo ano no verão as crianças brincam no mar.

No Japão, existem muitos livros ilustrados sobre o mar.
Esses livros nos contam sobre o mundo do outro lado do oceano e sobre o mundo no fundo do mar que ainda não conhecemos. Através de livros ilustrados, nossos pensamentos sobre nossos mares e oceano chegam aos amigos que moram do outro lado do mar. Esperamos poder tomar medidas para proteger nossos oceanos junto com todo o mundo.



Traduzido por Raffaele Jaffar



Nós e o Mar

Do mar de Ishikawa para os nossos amigos do outro lado do oceano



Sobre o Projeto

O projeto "O Barco de Livros Ilustrados Viajando ao Redor do Mundo" visa ampliar o interesse das crianças pelos mares do mundo através de livros ilustrados e compartilhar a importância de nos unir para proteger os oceanos.



わあ、きれいな かいが いっぱい あるよ。
Uau, quantas conchinhas lindas

みて! この かいがら くっついてて チョウチョみたい。
Olhe! Essas conchinhas estão grudadas e parecem uma borboletinha.

たがらものにしよう!



およいだ あとほ ひとやすみ。
Depois de nadar vamos descansar

カニさんも おにぎり たべたいの?
O senhor caranguejo também quer comer um bolinho de arroz?

つぎは おおきな おおきな すなの おしろを つくるぞー!
Agora, vamos fazer um castelo de areia bem grande!

つくるぞー!
Sim!

Lieve vrienden, Van Ishikawa, Japan

De plaats waar we wonen, Ishikawa Prefecture, ligt direct aan zee, en elke zomer brengen onze kinderen hun tijd door met spelen in de zee.

In Japan zijn er veel prentenboeken over de zee.

Prentenboeken leren ons over de "wereld voorbij de oceaan" en "de wereld onder de zee" die we niet kennen.

Door middel van prentenboeken hopen we dat onze gedachten over de zee onze vrienden aan de andere kant van de oceaan bereiken en dat we samen met iedereen ter wereld in actie kunnen komen om de zee te beschermen.



De "World Travelling Picture Book Boat" heeft tot doel kinderen te interesseren voor de oceanen van de wereld, door prentenboeken te gebruiken om het belang van samenwerking om onze oceanen te beschermen te delen.

Over dit project



Lieve vrienden, Van Ishikawa, Japan

De plaats waar we wonen, Ishikawa Prefecture, ligt direct aan zee, en elke zomer brengen onze kinderen hun tijd door met spelen in de zee.

In Japan zijn er veel prentenboeken over de zee. Prentenboeken leren ons over de "wereld voorbij de oceaan" en "de wereld onder de zee" die we niet kennen.

Door middel van prentenboeken hopen we dat onze gedachten over de zee onze vrienden aan de andere kant van de oceaan bereiken en dat we samen met iedereen ter wereld in actie kunnen komen om de zee te beschermen.



Vertaald door: Junko Sakakibara

De zee en wij



Aan onze vrienden aan de andere kant van de oceaan vanaf de Ishikawa-zee.



Over dit project

De "World Travelling Picture Book Boat" heeft tot doel kinderen te interesseren voor de oceanen van de wereld, door prentenboeken te gebruiken om het belang van samenwerking om onze oceanen te beschermen te delen.



ぼくたちとうみ
De zee en wij

いしかわの うみから うみの むこうの ともたちへ
Aan onze vrienden aan de andere kant van de oceaan vanaf de Ishikawa-zee.



うわあ、うみだ!
Wauw, kijk naar de zee!

Chers amis, Depuis Ishikawa, au Japon

L'endroit où nous vivons, la région d'Ishikawa, est en bord de mer.
Chaque été, les enfants vont jouer à la plage.

Au Japon, il existe de nombreux livres d'images sur la mer.
Ils nous renseignent sur le "monde au-delà de la mer" et "le monde sous la mer" que nous ne connaissons pas.

Grâce à ces livres d'images, nous espérons que nos réflexions sur la mer et les océans atteindront nos amis d'outre-mer,
et que nous pourrions agir ensemble pour les protéger.



Le "Bateau de livres d'images voyageant autour du monde" espère développer l'intérêt des enfants pour les océans du monde, à l'aide de livres d'images qui soulignent l'importance d'agir ensemble pour protéger les océans.

À propos de ce projet



Chers amis, Depuis Ishikawa, au Japon

L'endroit où nous vivons, la région d'Ishikawa, est en bord de mer.
Chaque été, les enfants vont jouer à la plage.

Au Japon, il existe de nombreux livres d'images sur la mer.
Ils nous renseignent sur le "monde au-delà de la mer" et "le monde sous la mer" que nous ne connaissons pas.

Grâce à ces livres d'images, nous espérons que nos réflexions sur la mer et les océans atteindront nos amis d'outre-mer,
et que nous pourrions agir ensemble pour les protéger.



Traduction française : Alice Costa

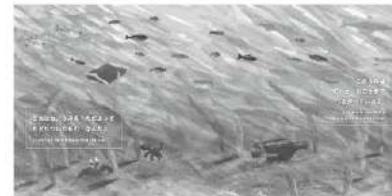
La mer et nous

Depuis la mer d'Ishikawa, pour nos amis de l'autre côté de la mer



À propos de ce projet

Le "Bateau de livres d'images voyageant autour du monde" espère développer l'intérêt des enfants pour les océans du monde, à l'aide de livres d'images qui soulignent l'importance d'agir ensemble pour protéger les océans.



これはね、うみを ただよって たどりついたもの なんだよ。
Ils ont dérivé dans la mer jusqu'ici.

このうみは ずっと むこうまで つながっているよ。
Cette mer est connectée à l'autre bout du monde.

この さぎには イルカの かぞくが くらしているよ。
Une famille de dauphins y vit.



En août 2022, la "Conférence mondiale des enfants sur la mer à Ishikawa" a eu lieu dans la préfecture d'Ishikawa. De nombreux enfants, qui aiment jouer sur la plage y ont participé et ont parlé de leur envie de prendre soin de la mer. Voici quelques unes des réflexions des enfants d'Ishikawa.

"J'ai envie d'aller voir les différentes créatures qu'il y a dans les mers étrangères." (12 ans)

"Je veux protéger la mer !" (9 ans)

"J'ai été choqué d'apprendre qu'il y avait plus de 100 millions de déchets dans la mer. Si j'étais un poisson, je pense que ce serait dur d'y vivre." (8 ans)

"Je voudrais aider à nettoyer la pollution marine, donc je veux réfléchir à ce que je peux faire, même si ce ne sont que de petites choses." (12 ans)

"La prochaine fois que j'irai à la mer, je voudrais ramasser les déchets que je verrai sur la plage. J'aimerais que tout le monde fasse pareil." (10 ans)

"À partir de maintenant, je voudrais respecter tous les êtres vivants." (11 ans)

Le 23 août 2022, à la bibliothèque municipale Kanazawa Université de Kanazawa

Dear Friends, From Ishikawa, Japan

저희가 사는 곳, 이시카와 현은 바다가 바로 옆에 있습니다.

어린이 친구들은 바다에서 놀며 매년 여름을 지냅니다.

일본에는 바다에 관한 그림책들이 많습니다.

그림책은 우리가 모르는 "바다 너머의 세계"와 "바다 속의 세계"를 가르쳐줍니다.

그림책을 통해, 이시카와 현의 바다와, 저희들의 바다에 대한 생각이, 바다 너머의 친구들에게 전해져,

전 세계 모두가 함께 바다를 지킬 수 있는 행동으로 이어지기를 소망합니다.

전 세계 모두가 함께 바다를 지킬 수 있는 행동으로 이어지기를 소망합니다.



'세계로 여행하는 그림책 보트'는 '그림책'을 통해 아이들의 '세계의 바다'에 대한 흥미를 일깨우고, 세계와 협력하여 바다를 지키는 소중한함을 전달합니다.

이 프로젝트에 대해서



Dear Friends, From Ishikawa, Japan

저희가 사는 곳, 이시카와 현은 바다가 바로 옆에 있습니다.
어린이 친구들은 바다에서 놀며 매년 여름을 지냅니다.

일본에는 바다에 관한 그림책들이 많습니다.
그림책은 우리가 모르는 "바다 너머의 세계"와 "바다 속의 세계"를 가르쳐줍니다.
그림책을 통해, 이시카와 현의 바다와, 저희들의 바다에 대한 생각이, 바다 너머의 친구들에게 전해져,
전 세계 모두가 함께 바다를 지킬 수 있는 행동으로 이어지기를 소망합니다.



한국어 번역 : 윤성령 (YoonPark Company)



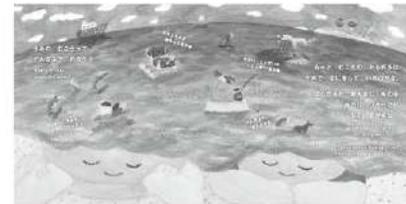
우리와 바다

이시카와의 바다에서 바다 너머의 친구에게



이 프로젝트에 대해서

'세계로 여행하는 그림책 보트'는 '그림책'을 통해 아이들의 '세계의 바다'에 대한 흥미를 일깨우고, 세계와 협력하여 바다를 지키는 소중한함을 전달합니다.



うみの むこうって どんなふう だろう?
바다 너머 세계는 어떤 곳일까?

もっと むこうのともたちは うみで なにを しているのかな。
바다 너머 멀리에 있는 친구들은 바다에서 무엇을 하고 있을까?

ぼくたちと おんなじ ものを みたり ひろったり しているかもね!
우리랑 똑같은 것들을 보거나, 즐기거나 하고 있을지도 모르겠네



ぼくは うみが だいすき。
나는 바다를 너무 좋아해.

きみは うみが すき?
너도 바다를 좋아하니?

みんなと つながる うみを ぼくたちの てで まもっていく。
모두와 연결되어 있는 이 바다를 우리 손으로 지켜 나가자.

시카와'가
다른 소중히
거 되서, 꼭 기쁘고



'바다 쓰러기가 '역제나 있다고 들어서 깜짝 놀랐습니. 다 재가 있던 바다 속에 사는 물고기였으면 원통기잖아요.' (8쪽)

'더러운 바다를 깨끗한 바다로 바꾸고 싶어요. 그래서 작은 것부터 제가 할 수 있는 것이 있는지 고민해 보았습니다.' (12쪽)

'다음에 바다에 갔을 때, 쓰러기를 줄고 청소하고 싶습니다. 모두 이런 생각을 하면 좋겠다고 생각합니다.' (10쪽)

'앞으로는 같이 살아가는 생명체 동료로서의 마음으로 생각해 주고 싶습니다.' (11쪽)

2022년 8월 22일(수) 14:00 시카와 현의 바다 5주 5일째

絵本の展示の様子

2023年1月中下旬に発送した絵本が、2月に各都市へ届けられました。

バッファロー（USA）「Buffalo and Erie County Public Library」の様子が写真で届いております。

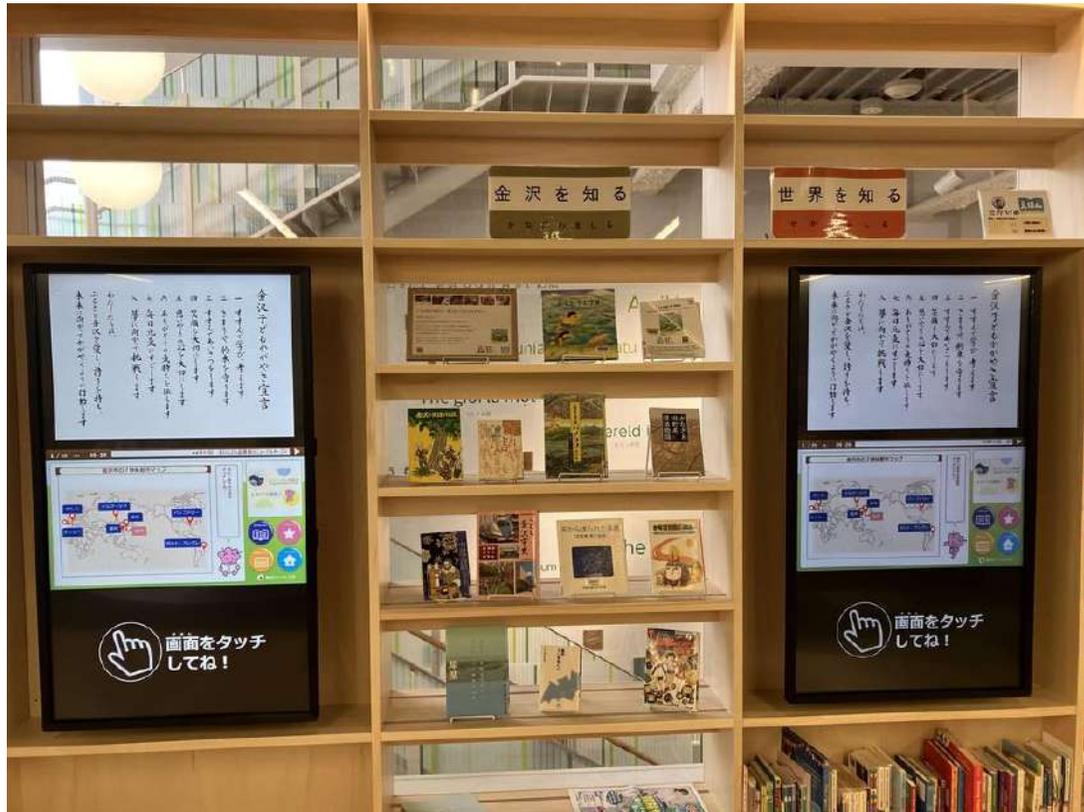
これから3月末にかけて展示されています。

また、そのほかの都市も準備次第展示が展開される予定です。（ポルトアレグレ市では、7カ所で巡回展示されます。）



絵本の展示の様子

石川県 金沢市立玉川こども図書館



石川県 金沢市立海みらい図書館

メディアパブリシティ

各市町図書館の協力もあり、北國新聞朝刊では毎回大きく取り上げられました。
また、新聞だけでなく、テレビやWEBメディアなどにも取り上げられ
プロジェクトを広く紹介してもらいました。

寄付でPayPayポイントが当たるキャンペーン Yahoo! JAPAN ヘルプ コレクション

YAHOO! JAPAN ニュース ログイン 50%OFF以上の商品が1000万種以上

キーワードを入力

マイページ 購入履歴

トップ 演習 ライブ 個人 オリジナル みんなの意見 ランキング 有料

主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域 トピックス一覧

絵本を通じて学ぼう 金沢海みらい図書館で読み聞かせ

北陸 北陸で行こう! 北陸情報観光ナビ

9/14(日) 12:50 配信

絵本を通じて子どもたちの海への興味を広げるプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」(親と子の絵本ワールド・インいしかわ実行委員会、北陸新聞社主催)の「せかいの海のおはなし展」は13日、金沢海みらい図書館で開かれ、親子連れ42人が海を題材にした絵本の読み聞かせに参加した。

石川子ども文庫連絡会の松田茂子さんと山田美知子さんが「スイミー」や「ターちゃんとおべりかん」「プラスチックの海」などを読み上げ、親子は海にちなんだ童歌も楽しんだ。金沢市金石町4年の越田七海さん(9)は「海のごみ問題についていろいろ知ることができた」と話した。

同館では23日まで、海の絵本を並べた「せかいの海のおはなし展」が開かれており、同日はシンポジウム「せかいごども海会議いしかわ」を開催する。

この記事をシェアしたいですか? リンク先で複製しよう

記事に関する報告

【関連記事】 色鮮やかな陶芸並ぶ 金沢・長町のクレーヴァー 大賞会を応援 写真展 金沢・久安の高原さん、境内の自然画した10枚披露

0TELNEWS ニュース ログイン 50%OFF以上の商品が1000万種以上

キーワードを入力

マイページ 購入履歴

トップ 政治 経済 国際 社会 スポーツ カルチャー ライフ 特集 地方

1級建築士が選ぶBIMソフト

石川県 | 2023年9月13日 18:03

石川県 海にまつわる絵本の読み聞かせ会 子どもたちが世界の海へ興味を示す

世界を旅する絵本ポート 絵本で伝える海の大切さ

絵本を通じて子どもたちが世界の海に興味を持ってもらおうと、石川県金沢市の図書館で絵本の読み聞かせが行われた。

このイベントは子どもたちに絵本を通じて世界の海に興味を持ってもらいその大切さを学んでもらおうと開かれたもの。

会場の金沢海みらい図書館には海での楽しい時間や冒険などを描いた世界の絵本が並べられたほか大型の絵本の読み聞かせが行われた。

参加した子どもたちはさまざまな海の物語を通して海の関心を深めていた。

こちらの会場では23日まで、せかいごども海会議として海のためにできることを考えるワークショップなども行われる予定だ。

このページも共有

東京の“豊後” 2023年9月13日 18:03

1級建築士が選ぶBIMソフト

ランキング

YAHOO! JAPAN ニュース ログイン 50%OFF以上の商品が1000万種以上

キーワードを入力

マイページ 購入履歴

トップ 演習 ライブ 個人 オリジナル みんなの意見 ランキング 有料

主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域 トピックス一覧

世界の海を知らう!図書館で「世界の海のおはなし展」

9/14(日) 14:00 配信

金沢市の図書館では、海をテーマにした絵本を集めた特設コーナーを設け、夏休み中の子どもたちが絵本の世界を堪能しています。

【写真を見る】世界の海を知らう!図書館で「世界の海のおはなし展」

金沢海みらい図書館では、「せかいの海のおはなし展」と題して、館内の一角に世界の海に関する絵本を集めた特設コーナーを設けています。本棚には日本新聞社が寄付したものを含め22冊が並べられていて、ながらに、飛び出す仕掛けが施された絵本もあり、訪れた子どもたちが絵本の世界を堪能していました。

訪れた子どもたちからは「想像力が作るの楽しかったらうなと思います」といった声や、「海の冒険とかそう言う感じの絵で面白いところがたくさんあります」といった感想が聞かれました。

「せかいの海のおはなし展」は金沢海みらい図書館で23日まで開かれていて、最終日にはワークショップなども行われます。

この記事をシェアしたいですか? リンク先で複製しよう

記事に関する報告

【関連記事】 花や鳥を捉えた写真展 石川津波博物館 続行企画でアグセガリー 金沢・クラフト広場 美術館が作り出す世界 石川津波博物館、旭東で展示 アユカがめくった新書 川北まつり、家族連れ400人参加し 輪舞にグループ参加 本館で見送り

YAHOO! JAPAN ニュース ログイン 50%OFF以上の商品が1000万種以上

キーワードを入力

マイページ 購入履歴

トップ 演習 ライブ 個人 オリジナル みんなの意見 ランキング 有料

主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地域 トピックス一覧

海に関する絵本22点 金沢・海みらい図書館

北陸 北陸で行こう! 北陸情報観光ナビ

9/14(日) 14:00 配信

絵本を通じて子どもたちの海に関する興味を広げるプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」(親と子の絵本ワールド・インいしかわ実行委員会、北陸新聞社主催)の「せかいの海のおはなし展」は14日、金沢海みらい図書館で始まり、書に関する本22点が並んだ。

海の生物の写真紹介ブースも設けられた。13日は絵本の読み聞かせ、23日には「せかいごども海会議いしかわ」が開かれる。本の展示は23日まで。

この記事をシェアしたいですか? リンク先で複製しよう

記事に関する報告

【関連記事】 花や鳥を捉えた写真展 石川津波博物館 続行企画でアグセガリー 金沢・クラフト広場 美術館が作り出す世界 石川津波博物館、旭東で展示 アユカがめくった新書 川北まつり、家族連れ400人参加し 輪舞にグループ参加 本館で見送り

アクセスランキング (印刷・登録)

1 相場で14枚高値取引 国内9年ぶり、最高値で売却、4.0〜7.0代 買入も本格化

時評委員会は28日、金沢市の北國新聞会館で開かれ、任期満了に伴う改選で理事、監事、評議員を選任し、評議員会後の書面表決

21年度の事業報告、収支決算などを承認した。副理事長、理事、監事、評議員は次の各氏（○は新任）。

▽副理事長 ○蒲川眞人、○山瀬

化はこの原則に基づいた。最上位「プライ」は独立社外取締役を3にすべきといった取

子どもたちに向けた絵本のプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」



子どもたちに向けた絵本のプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」

（親と子の絵本ワールド・インイ）

かわ実行委員会、北國新聞社主催）

は7月15日、石川県内の図書館4カ所

所が始まる。海にまつわる絵本を紹介し、世界とつながる海を守るために互いに協力していくことの大切さを考える。

県内4図書館
来月15日から

世界の海 絵本で考える

会場は金沢海みらい図書館、かほく市中央図書館、学びの杜のいちカレド、小松市空と子ども絵本館の4カ所。それぞれの図書館で「せいかいの海のおはなし展」と題して海に関する絵本を展示し、「おはなし会」を開催す。

8月23日まで。同日に金沢海みらい図書館で小学生の親子を招いたシンポジウム「せいかいこども海会議inいしかわ」を開催し、水中写真家の古見きゆうさんの講演などを予定する。

日本財団「海と日本プロジェクト」の今年度助成事業として展開する。

実行委と本社

中川会長を再任
石川県区長連
は2年。会長を除く役員は次の各氏（○は新任）。

▽副会長 村西卓（小松市町内会連合会長）小田吉（白山市町内会会長）○外山郁也（能美市町内会連合会長）

副会長 ○基田和幸（金沢市町内会）
副会長 ○山崎一（七尾市町内会）
副会長 ○上田幸男（金沢市町内会）
副会長 ○石川隆一（能美市町内会連合会）
副会長 ○辰岡博（津幡町区長）

電話 076-253-3111

フAX 076-253-3112

社会部 (260) 3524 FAX (260) 3420 syaka@hokokoku.co.jp

運動部 (260) 3444 FAX (260) 3456 undou@hokokoku.co.jp

undou@hokokoku.co.jp

政府部 (260) 3527 FAX (260) 3529

経済部 (260) 3529 FAX (260) 3533

文化部 (260) 3533 FAX (260) 3533

〒910-0876 石川県津幡町津幡2-1-1

七尾支社 0767-531-1881 FAX 521-3320

輪島支社 0768-221-6303 FAX 221-2899

羽咋支社 0767-221-0028 FAX 221-2190

津幡支社 076-281-2263 FAX 281-4205

津田支社 0768-821-0102 FAX 821-0049

能登支社 0768-621-1151 FAX 621-1818

穴水支社 0768-521-0057 FAX 521-1699

中島支社 0767-661-1969 FAX 661-1134

中能登支社 0767-781-1818 FAX 781-0976

海の保全絵本で考える

せいかいのおはなし展

野々市、かほくで開幕

「せいかいの海のおはなし展」(親子の絵本ワールド・インいしかわ実行委員会、北國新聞社主催)は15日、野々市市立の杜の中央図書館で開幕した。今年始まった絵本のプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」の一環として、文庫連絡会の協力で通読した絵本2冊と同館の司書が選んだ5冊が内容とともに紹介された。

おはなし展は、16日から小松市空と子ども絵本館、8月4日から金沢海みらい図書館でも始まる。各会場では「おはなし会」も

対開は16日午前9時開始で、立会人は山下敬吾が読書。時間は各4時間、同じ日に勝敗が決まる見込み。第1回は読み合わせで進め、第2回は対戦を期した。と主催

対開は16日午前9時開始で、立会人は山下敬吾が読書。時間は各4時間、同じ日に勝敗が決まる見込み。第1回は読み合わせで進め、第2回は対戦を期した。と主催

大盤解説は16日午後2時から北國新聞20階ホールで開かれ、会期最終日の8月23日には金沢海みらい図書館で小学生の親子を募ってシンポジウム「せいかいこども海会議inいしかわ」を開催される。

日本財団「海と日本プロジェクト」の助成事業として展開される。

人気セレクトショップ「BEMS(ビームズ)」のオリジナルブランド「BEAMS GOOLF」(ビームズゴルフ)の期間限定店は15日、加賀市の片山津ゴルフ倶楽部でオープンした。北陸での出店は初めてで、ゴルフウェアやカートバッグなど約400点を取り扱った。

価格は2千5万円から、ゴルフボールからキャディーバッグまで幅広く用意した。機能性に優れたシャツやパンツといった定番ウェア、昨

2022年(令和4年)7月17日(日曜日) 北陸新聞 (36)



海の大切さ絵本で知る

小松、おはなし展が開幕

絵本を通じて子どもたちに「世界の海」の大切さを伝える。北國新聞社主催の「せいかいのおはなし展」は16日、小松市空と子ども絵本館で開幕した。

「親と子の絵本ワールド・インいしかわ」は、今年始まった絵本のプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」の一環として、文庫連絡会の協力で通読した絵本2冊と同館の司書が選んだ5冊が内容とともに紹介された。

おはなし展は、16日から小松市空と子ども絵本館、8月4日から金沢海みらい図書館でも始まる。各会場では「おはなし会」も

教員目指し103人受験

県公立学校採用試験が始まる

2023年度の公立学校教員採用試験は16日、小松高小で試験が始まった。今年度は103人が受験した。

試験は16日、小松高小で試験が始まった。今年度は103人が受験した。

試験は16日、小松高小で試験が始まった。今年度は103人が受験した。

金 沢



海に関する絵本を手取る来館者 金沢海みらい図書館

海に関する絵本22点 海みらい図書館
 「世界へ旅する絵本ポート」(親子の絵本ワールド・イン)の「せかいの海のおはなし」展は4日、金沢海みらい図書館で始まり、海に関する本22点が並んだ。
 海の生物の写真紹介ブースも設けられた。13日は絵本の読み聞かせ、23日には「せかいのこども海会議 in いしかわ」が開かれる。本の展示は23日まで。

2022.8.5 北國新聞朝刊

読み聞かせに聞き入る親子—かほく市中央図書館



海の絵本を読み聞かせ

絵本を通じて子どもへの海に対する興味を広げるプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」(親子の絵本ワールド・イン)が、かほく市中央図書館で開かれ、親子約30人が海に関する絵本の読み聞かせに耳を傾けた。
 市民でつくる「やまんばのおはなし会」の中村知和さんと山名田篤志さんが、

「ミガメのがりー」などを読み聞かせ、子どもは歌や体操も楽しんだ。
 同日は金沢市の金沢海みらい図書館でシンポジウム「せかいこども海会議 in いしかわ」が開催される。日本財団「海と日本プロジェクト」の助成事業として行う。

2022.7.31 北國新聞朝刊

「利家とまつ」 金沢城ハルマラソン

2022-秋の陣-

10月2日 | 金沢公園内特別周回コース

フルコース (12.8km) | ハーフコース (6.4km) | 4時間耐久コース

参加チーム募集!!
 参加費(税込) 大人 3,000円 小学生以下 1,500円

抽選で豪華賞品プレゼント!

9月2日 抽選会

抽選会は9月2日(土)午後1時30分、金沢市市民会館(〒920-8598)にて開催される。抽選結果は同日午後5時30分、金沢市市民会館(〒920-8598)にて発表される。

主催 **北國新聞社**

2022.7.24 北國新聞朝刊

絵本通じて海を学ぶ

金沢海みらい図書館で読み聞かせ

海に関する絵本の読み聞かせを楽しむ親子—金沢海みらい図書館

絵本を通じて子どもたちの海への興味を広げるプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」(親子の絵本ワールド・イン)が、かほく市中央図書館で開かれ、親子約42人が海を題材にした絵本の読み聞かせに聞き入った。

「田舎音響」音楽の聴き方(一) 一般財団法人北國芸術振興財団、エフエム石川主催、北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会共催)は13日、金沢市の北國新聞朝刊ホール

松田茂子さんと山田美知子さんが「スイミー」や「ターちゃんどべりかん」や「ラスチックの海」などを読み上げ、親子は海にちなんだ車歌も楽しんだ。金沢市人(9)は「海(のこみ問題)についていろいろ知ることができた」と話した。

同日は13日まで、海の絵本を並べた「せかいの海のおはなし展」が開かれており、同日はシンポジウム「せかいこども海会議 in いしかわ」を開催する。

記者ノート

4日の記録的大雨 水状態となった。湖にすれに暴れるさまを山を思った。ひと月た源流域の豊之助谷の高地で行われていた工事の光景が、急激な斜面に絶えがたっている。荒れ5平方メートルの広大なに、地滑りの原因を抜く大掛かりな工事進められている。が10秒以上動く場所がある。

919人感染 2人

2022.8.14 北國新聞朝刊

関連イベントの展開

プロジェクトの関連イベントとして、
県内のショッピングセンターでプロジェクトイベント展開しました。

- イオンモール新小松 / 2022年 10月22日（土）
- イオンモールかほく / 2022年 10月30日（日）



世界へ 旅する 絵本ボート

Let's share stories of our ocean by the picture book.

'22夏、県内図書館で開催した「世界へ旅する絵本ボート」が
この秋イオンモールでスピノフ開催!

日時 **10月22日(土)**
10:00~17:00

場所 **イオンモール新小松**
1F祭広場

イベント内容

- 絵本の朗読
1回目/13:30~14:00
2回目/15:30~16:00

MC:
多賀祐子



- 絵本の展示
「せかいの海のおはなし展」

- 水中写真家
「古見きゅう」
せかいの海の写真展

- 海のハーバリウムづくり
参加無料 先着150名様
10:00~17:00



普段手にとらない絵本を
子供に紹介できてよかった。



海の環境解決のためにも
もっと本を読みたいです。



海のプラスチックひろいを楽しくなった。



船に乗って
外国へ行ってみたいと
思いました。



海の大切さを知って、
海のゆたかさを
もちたいたと思った。



子ども大人もとても楽しめました。



マイバッグ、マイごみ袋、
マイボトルを持つようになる。



石川の海を、世界中の海を
きれいにしたいです。



詳しい情報は
webサイトまで





世界へ 旅する 絵本ボート

Let's share stories of our ocean by the picture book.

'22夏、県内図書館で開催した「世界へ旅する絵本ボート」が
この秋イオンモールでスピノフ開催!

日時 **10月30日(日)**

10:00~17:00

場所 **イオンモールかほく
1Fグリーンコート**

イベント内容

- 絵本の朗読
1回目/13:30~14:00
2回目/15:30~16:00

MC:
白崎あゆみ



- 絵本の展示
「せかいの海のおはなし展」

- 水中写真家
「古見きゅう」
せかいの海の写真展

- 海のハーバリウムづくり

参加無料 先着150名様
10:00~17:00



普段手にとらない絵本を
子供に紹介できてよかった。



海の環境解決のためにも
もっと本を読みたいです。



海のプラスチックひろいをしたくなった。



船に乗って
外国へ行ってみたいと
思いました。



海の大切さを知って、
海のゆたかさを
もちたいと思った。



マイバッグ、マイごみ袋、
マイボトルを持つようにする。



子ども大人もとても楽しめました。



石川の海を、世界中の海を
きれいにしたいです。



詳細情報

詳しい情報は
webサイトまで



【主催】親子の絵本ワールドイン・いしかわ実行委員会、主催新聞社、【協賛】日本財団「海と日本プロジェクト」
【後援】金沢市教育委員会、小松市教育委員会、福井県教育委員会、かほく市教育委員会、北陸放送、アソビの会、金沢クラブ、ユフコム石川、ラジオからざわ〜こころ〜らじお
【協力】石川子ども支援会、金沢市立中央図書館、小松市立中央図書館、あひの社のいもいも スーパード、かほく市立中央図書館

【お問い合わせ】親子の絵本ワールドイン・いしかわ実行委員会「世界へ旅する絵本ボート」プロジェクト事務局
Email: ehonboat@nippon-ag.co.jp www.web.hokkoku.co.jp/ehonboat/

● 関連スピンオフイベントの様子



海題材の絵本 親子で楽しむ

かほくで読み聞かせイベント

子どもの海への関心を広げるプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」（親子の絵本ワールド イン・いしかわ実行委員会、北國新聞社主催）のイベントは30日、かほく市のイオンモールかほくで開かれ、親子が海を題材にした絵本の読み聞かせや写真パネル展を



絵本の読み聞かせに聞き入る親子
—かほく市内のショッピングセンター—

楽しんだ。フリーアナウンサーの白崎あゆみさん（金沢市）が「つみのむこうは」コブラ絵本や、水中写真家の古見さゆうさんのシンベエサメなどを捉えた写真が並び、植物や貝殻をガラス容器に入れた「ハーバリウム」作りにもぎわった。

日本財団「海と日本プロジェクト」の助成事業として実施した。

海の絵本 読み聞かせ



絵本の読み聞かせを楽しむ親子
—小松市内の商業施設—

小松でイベント

子どもの海への興味関心を広げるプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」（親子の絵本ワールド イン・いしかわ実行委員会、北國新聞社主催）のイベント

は22日、小松市のイオンモール新小松で開かれ、親子は海にちなむ絵本の読み聞かせを楽しんだ。

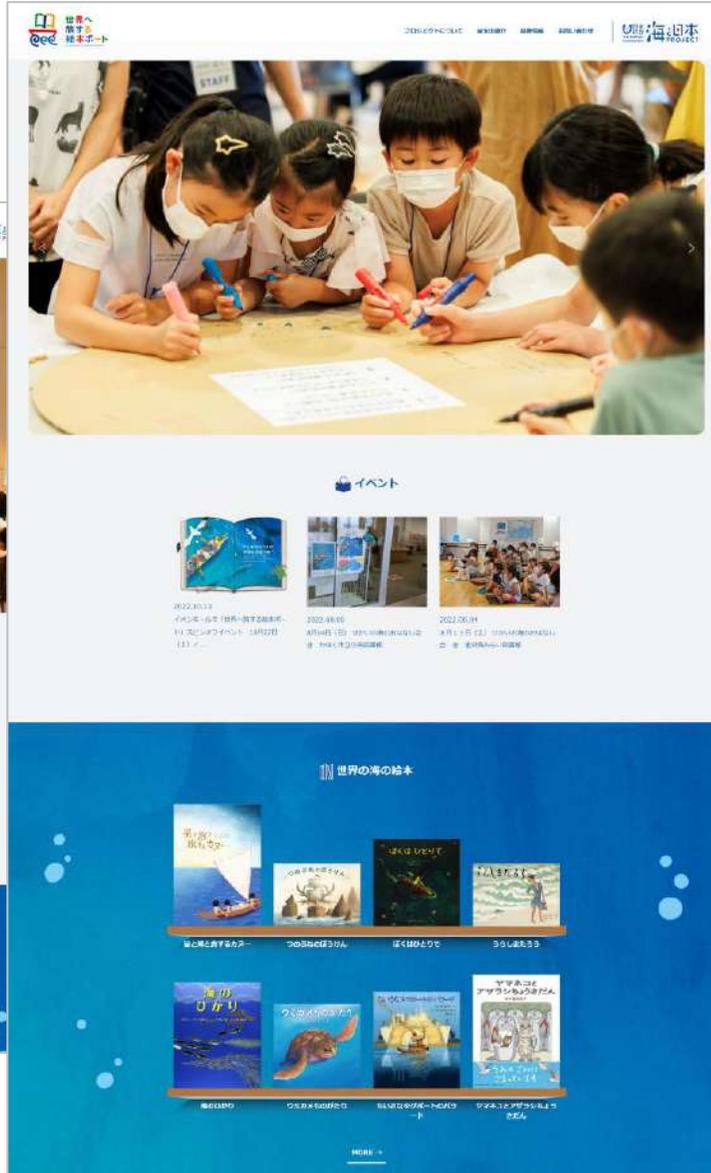
会場には海に関する絵本17冊が展示され、フリーアナウンサー多賀祐子さん（金沢市）が「つみのむこ

うは」など3冊を朗読した。水中写真家の古見さゆうさん（東京）がウミガメなどを撮影した作品が並び、ハーバリウム作りコーナーも人気を集めた。

日本財団「海と日本プロジェクト」の助成事業として実施した。イベントは30日にかほく市のイオンモールかほくでも開催される。

WEBサイト

WEBサイトでは、絵本の紹介のほか
ニュースや、イベントの告知媒体として展開しました。





2022 THANK YOU !!

おわりに

今年度は、事業の立ち上げの1年でした。
4月に採択が決定し、夏休みスタートに向けて、
石川子ども文庫連絡会、各市町村の図書館、教育委員会、国際交流課のほか
多数の関係機関、個人の方のサポートをいただき、なんとかスタートをきった7月。
タイトなスケジュールで制作を進めてきましたが
誰もが、この企画に賛同していただき、知恵や協力のサポートのもと
想像以上の広がりを感じるプロジェクト展開でした。

進めながら、見えてきた課題はたくさんあります。
その課題をクリアしながら
「こんな協力できるよ。」というひとつひとつの声を大切にして
今後もつなげていきたいと考えています。

今年度は、この事業のスタートアップのサポートをいただき、
本当にありがとうございました。

今後のプロジェクト展開イメージ

2022年

事業の立ち上げ & 関係者の協力体制を構築

活動体を形成し、地域の自治体や市民・関係団体の協力体制を構築する。

- ・ 関係者の協力体制の構築
- ・ 地元への周知
- ・ 姉妹都市の協力体制の構築
- ・ プロジェクトの実績づくり

2023年

開催エリアの拡大 & 民間企業のスポンサー協力体制の構築

石川県内の開催地を拡大し、さらに多くの地域団体を巻き込みプロジェクトを拡大。
民間企業の協力・協賛を得て、事業エリア・規模を拡大する。

- ・ 開催エリアの拡大（開催図書館の拡大、民間の書店、オンライン書店ほか）
- ・ 民間企業の協力体制の構築
- ・ 姉妹都市図書館との連携プログラムの拡大・強化

2024年

産官学連携事業としてのプロジェクト推進／事業体の形成

地域の自治体・教育委員会・協賛企業との連携を深め、産官学連携事業としてプロジェクトを推進。
石川県内だけでなく、他県での展開づくり

- ・ プロジェクト自走のための組織構築
- ・ 県外・その他各地での開催展開
- ・ 交流姉妹都市の拡大